brother

ユーザーズガイド パソコン活用編

DCP-7030
DCP-7040
MFC-7340
MFC-7840W

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド（印刷版）6章「こんなときは」で調べる

2 サポート　ブラザー

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

Version 0 JPN

やりたいことがすぐ探せる！ やりたいこと目次 5P

目　次

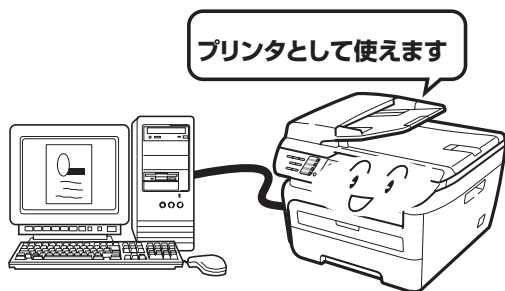
Machintosh® 編

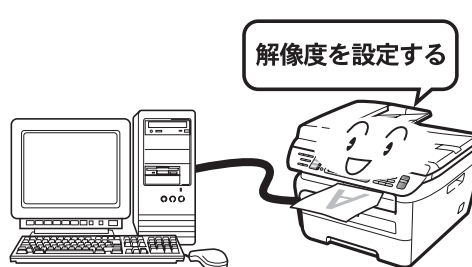
付　録

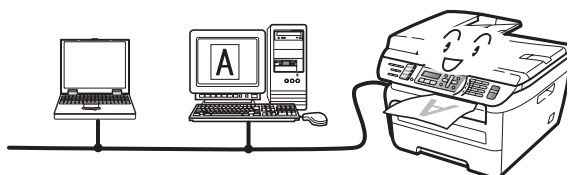
やりたいこと目次

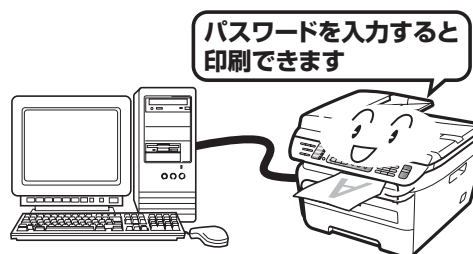
あなたの「○○したい」から該当ページを参照できます。

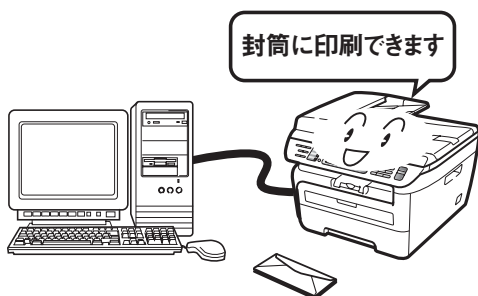
プリンタ

プリンタとして使いたい。

[Windows® の場合]
P.12
[Macintosh® の場合]
P.123

印刷設定を変更したい。

[Windows® の場合]
P.28
[Macintosh® の場合]
P.134

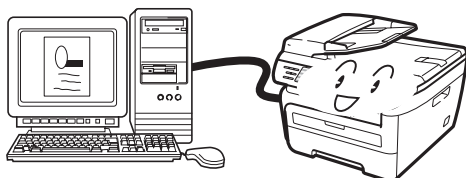
ネットワーク内で本製品を共有プリンタとして使いたい。

詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

機密文書を印刷したい。[セキュリティ印刷]（MFC-7840W のみ）

[Windows® の場合]
P.39
[Macintosh® の場合]
P.140

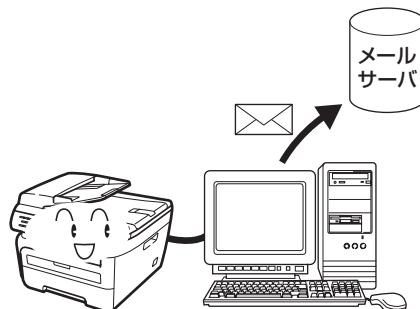
封筒に印刷したい

[Windows® の場合]
P.16
[Macintosh® の場合]
P.126

スキャナ

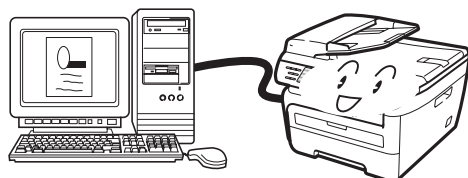
原稿をスキャンしてコンピュータに保存したい。[スキャン to ファイル]

スキャンした原稿を、コンピュータの指定したフォルダに保存します。

[Windows® の場合]
P.59
[Macintosh® の場合]
P.152

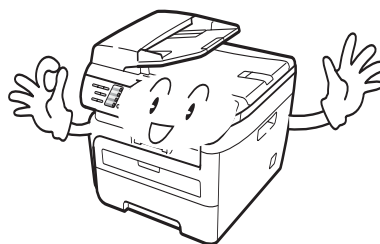
原稿をスキャンして E メールで送りたい。[スキャン to E メール添付]

スキャンした原稿を E メールに添付して送信できます。

[Windows® の場合]
P.53
[Macintosh® の場合]
P.146

原稿をスキャンしてアプリケーションソフトに送りたい。[スキャン to イメージ]

スキャンした原稿をコンピュータの指定したアプリケーションソフトに送って編集できます。

[Windows® の場合]
P.55
[Macintosh® の場合]
P.148

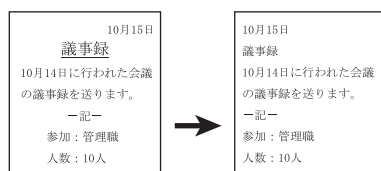
原稿をスキャンしてFTPサーバーに送りたい。[スキャン to FTP]（MFC-7840W のみ）

スキャンした原稿をネットワーク上またはインターネット上の FTP サーバーに保存できます。

[Windows® の場合]
P.61
[Macintosh® の場合]
P.154

文字を修正できるようにスキャンしたい。[スキャン to OCR]

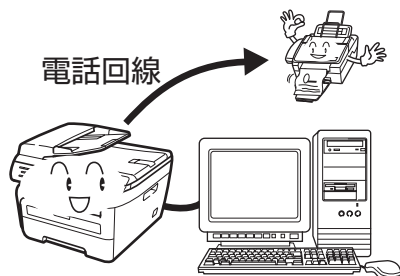
スキャンした原稿を解析して、文書（テキスト）データに変換できます。

10月15日
議事録
10月14日に行われた会議の議事録を送ります。
－記－
参加：管理職
人数：10人

10月15日
議事録
10月14日に行われた会議の議事録を送ります。
－記－
参加：管理職
人数：10人

[Windows® の場合]
P.57
[Macintosh® の場合]
P.150

PCファクス（MFC-7340/MFC-7840Wのみ）

コンピュータからファクスを送りたい。 [PC ファクス送信]

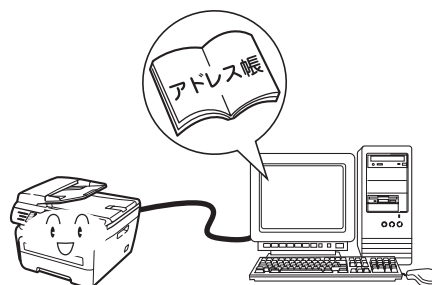
コンピュータで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。印刷してからファクスする必要はありません。

［Windows® の場合］

P.88

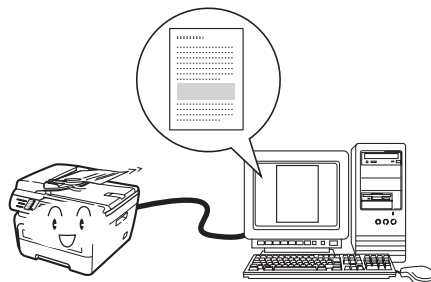
［Macintosh® の場合］

P.175

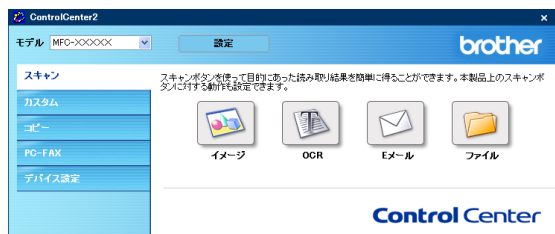
アドレス帳を利用したい。 [PC ファクスアドレス帳]（Windows® のみ）

PC ファクスを送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Windows メールや Outlook、Outlook Express のアドレス帳データを使用することもできます。

P.94

受信したファクスをコンピュータで確認したい。 [PC ファクス受信]（Windows® のみ）

受信したファクスを本製品と接続しているコンピュータに送ります。コンピュータ上で内容を確認してから印刷できます。

P.105

その他

スキャナ、PC ファクスなどをかんたんに起動したい。[ControlCenter2、3]

[Windows® の場合]

P.110

[Macintosh® の場合]

P.181

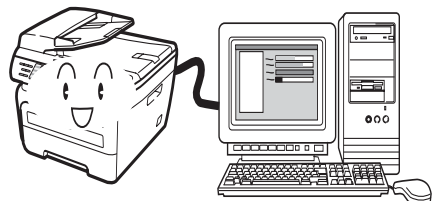
コンピュータから本製品の状態を確認したい。[ステータスモニタ]

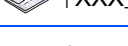
[Windows® の場合]

P.26

[Macintosh® の場合]

P.132

パソコンから簡単に電話帳の登録などの設定をしたい。[リモートセットアップ]（MFC-7340/MFC-7840W のみ）

[Windows® の場合]

P.78

[Macintosh® の場合]

P.166

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

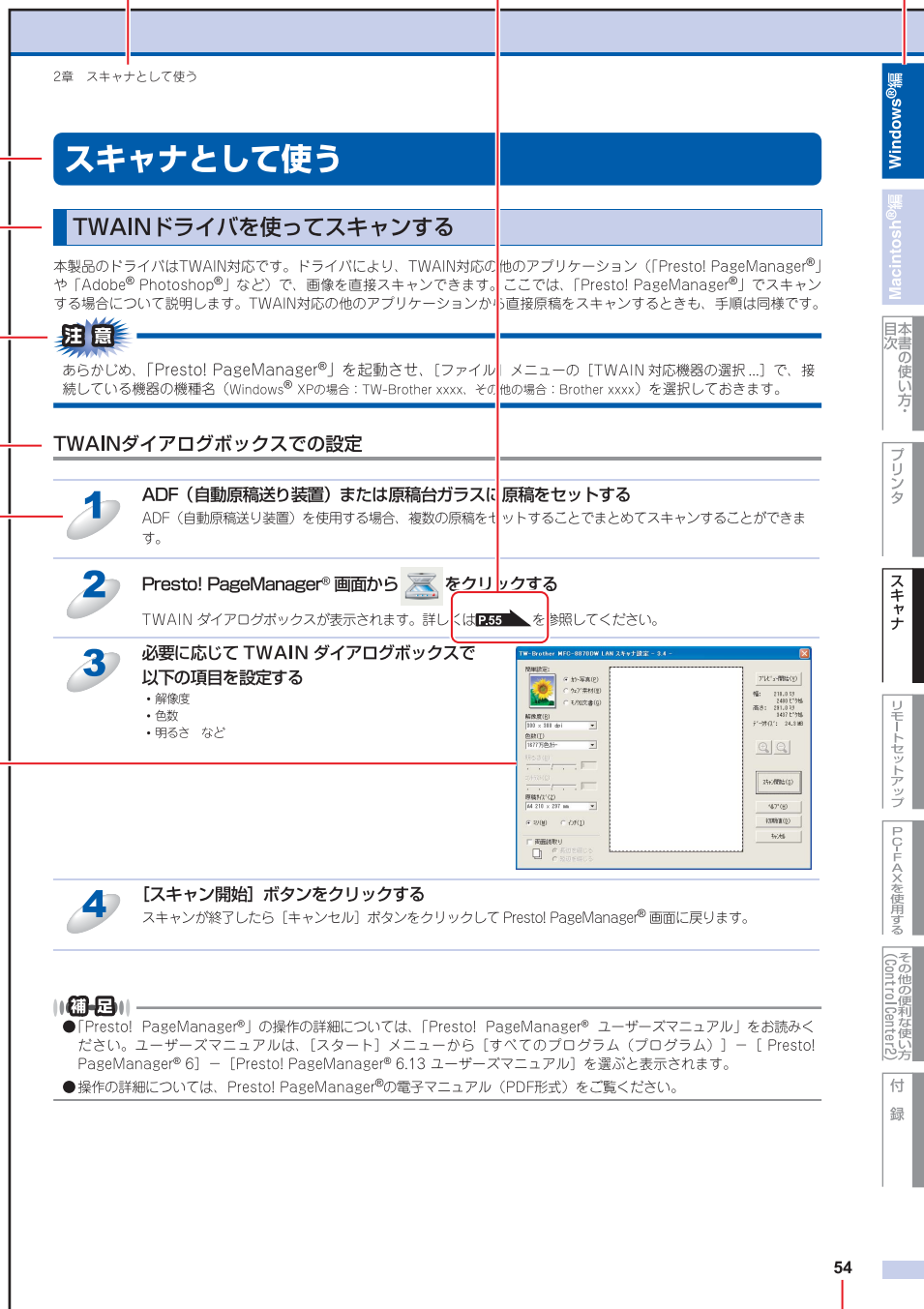
マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.XXX	本書内の参照先を記載しています。（XXXはページ）
「XXX」	ユーザーズガイド（印刷版）の参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
	画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照しています。

商標について

Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中ではWindows® 2000と表記しています。）
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Vista®の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft 、Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。
Adobe、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

Windows®編

1章

プリンタとして使う

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本製品をプリンタとして使用するには、付属のCD-ROMの中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。CD-ROMの中には、Windows® 2000/XP/XP x64 Edition、Windows Server® 2003（MFC-7840Wのネットワーク接続のみ）、Windows Vista® 対応のプリンタドライバが用意されています。これらのドライバは、Windows®に簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定等ができます。
コンピュータとの接続やドライバのインストール方法については、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

補足

Windows® XP/Windows Vista®で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて印刷できないときは、ポート137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは「画面で見るマニュアル(HTML形式)」を参照してください。

プリンタとしての特長

本製品は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもコンピュータからのデータを印刷することができます。
ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。
以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷

1分間に最高21枚の印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）

● 2400 × 600dpi 出力

普通紙に2400×600dpi相当の解像度で印刷します。

● USB（Universal Serial Bus）に対応

Full-Speed USB 2.0に対応します。

● 多彩な記録紙対応

本製品は普通紙、ラベル紙、はがきおよびOHPフィルムなどに対応します。

● ネットワークプリント (MFC-7840W のみ)

ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。詳しくは、「画面で見るマニュアル(HTML形式)」を参照してください。

● セキュリティ印刷 (MFC-7840W のみ)

データ印刷時、設定したパスワードを本製品の操作パネルで入力しないと印刷できないようにします。書類の機密保持に役立ちます。詳しくはP.39を参照してください。

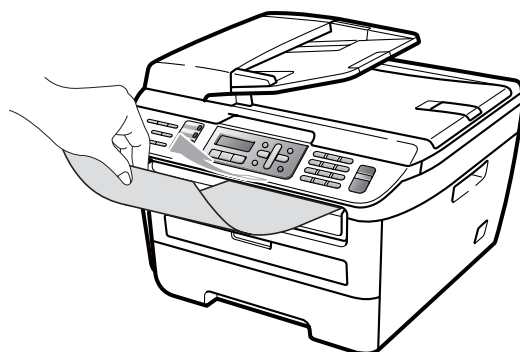
● ID 印刷

設定したID（ユーザー名など）を印刷できます。印刷したものが第三者に渡るのを防ぎます。詳しくはP.44を参照してください。

補足

●解像度などの設定についてはP.32を参照してください。

●記録紙についての詳細は、ユーザーズガイド（印刷版）「1章 ご使用の前に　記録紙について」を参照してください。

●印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。

●本製品がコンピュータからのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのはコンピュータの印刷終了後です。また、MFC-7340/MFC-7840Wでは、コンピュータから印刷中にファクスを受信すると、コンピュータの印刷終了後に受信したファクスの印刷を開始します。ファクス送信は、印刷中でも可能です。

注意

■ご使用のソフトウェアの種類やコンピュータの環境によっては、本製品で印刷できない場合もあります。

■非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。

印刷する

印刷する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする

［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする

手差しスロットを使用して印刷する

手差しスロットからは、記録紙を一度に一枚ずつ給紙します。記録紙を記録紙トレイから取り出す必要はありません。

普通紙、再生紙、OHPフィルムに印刷する場合

補足
手差しスロットに記録紙を挿入すると、本製品は自動的に手差しスロットからの印刷モードに切り替わります。

排紙ストッパーを開く

印刷された記録紙が上面排紙トレイから滑り落ちたり、原稿と記録紙の両方が本製品から滑り落ちることを防ぎます。

手差しスロットカバーを開く

手差しガイドを両手で持って、記録紙のサイズに合わせる

印刷する面を上にして記録紙を両手で持ち、手差しスロットから挿入する

記録紙の先端が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、記録紙が少し引き込まれるまで、そのままの状態で待ちます。給紙をはじめたら、記録紙から手を離します。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする

［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする

印刷した記録紙を本製品が排出したら、手順 4 にしたがって次の記録紙を挿入します。
印刷は枚数分繰り返してください。

厚紙、封筒、ラベル紙に印刷する場合

バックカバーを開くと、手差しスロットに挿入した記録紙を曲げずに背面から取り出すことができます。

補足

- 紙づまりしないように、印刷後は背面排紙トレイから記録紙をすぐに取り出してください。
- 手差しスロットに記録紙を挿入すると、本製品は自動的に手差しスロットからの印刷モードに切り替わります。

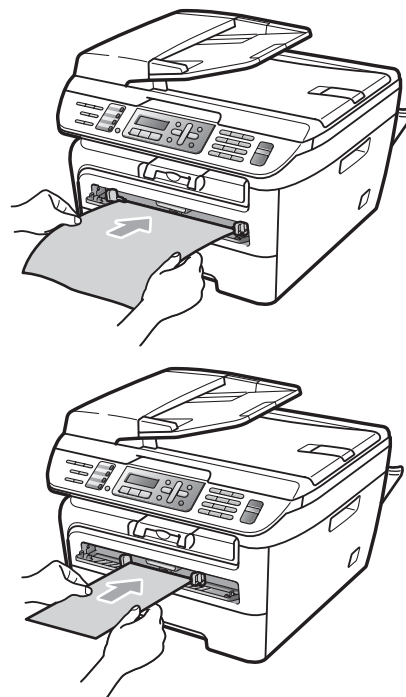
バックカバーを開く

手差しスロットカバーを開く

手差しガイドを両手で持って、記録紙のサイズに合わせる

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2/3)
付録

印刷する面を上にして記録紙または封筒を両手で持ち、手差しスロットから挿入する

記録紙または封筒の先端が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、少し引き込まれるまで、そのままの状態で待ちます。給紙をはじめたら、記録紙または封筒から手を離します。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする

［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする

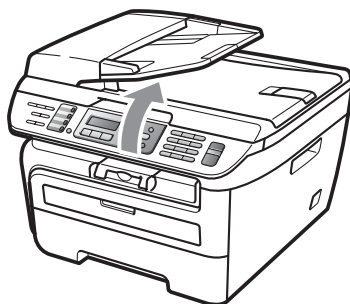
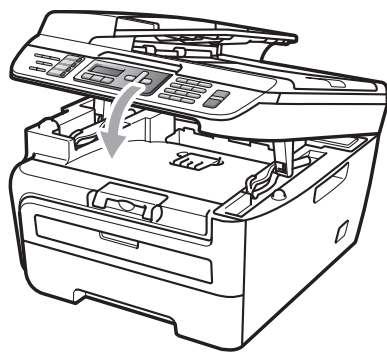
印刷した記録紙を本製品が排出したら、手順４にしたがって次の記録紙を挿入します。
印刷は枚数分繰り返してください。

注意

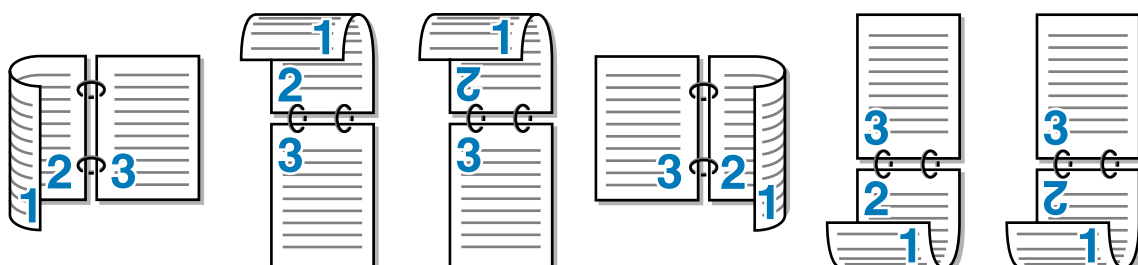
■手差しスロットに記録紙を挿入するときは、印刷面を上にして挿入してください。

■記録紙は正しい位置にまっすぐ挿入してください。正しく挿入されないと、印刷のゆがみや紙づまりの原因となります。

■手差しスロットに2枚以上の記録紙を同時に挿入しないでください。紙づまりの原因となります。

■サイズの小さな記録紙を取り出すときは、スキャナカバーを両手でゆっくり開いてください。

■スキャナカバーを開いた状態でも印刷ができます。スキャナカバーを閉めるときは、両手でゆっくり閉じてください。

手動両面印刷する

本製品のプリンタードライバの機能で手動による両面印刷ができます。

両面印刷の例

手動両面印刷に関する注意点

- 用紙が薄い場合は、しわが付く可能性があります。
- 用紙が反っている場合は、まっすぐに伸ばしてから記録紙トレイまたは手差しスロットに入れてください。
- ボンド紙は使用できません。
- 用紙が正常に給紙されないときは、用紙が反っている恐れがあります。用紙を取り出してまっすぐに伸ばしてください。

注意

■手動両面印刷の機能を使うと、紙づまりが起こったり、印字品質が落ちることがあります。紙づまりが起こった場合は、ユーザーズガイド（印刷版）の「3章 こんなときは　記録紙がつまったとき」（DCP-7030/DCP-7040）、「6章 こんなときは　記録紙がつまったとき」（MFC-7340/MFC-7840W）を参照してください。

● 手動両面印刷のポイント

はじめに偶数ページ（裏面）を印刷します。

例えば、10ページのデータを記録紙５枚に印刷する場合、まず2ページ目、4ページ目、6ページ目...が片面に印刷されます。その後印刷された用紙を記録紙トレイまたは手差しスロットに入れ、もう一方の面に1ページ目、3ページ目、5ページ目...と順に印刷されます。

手動両面印刷する場合は、次の方法で記録紙トレイまたは手差しスロットに用紙を入れてください。

●記録紙トレイ

記録紙トレイに用紙を入れたときの下面が、印刷面になります。

①印刷する面を下向きに（用紙の上が手前にくるように）して、記録紙トレイに用紙を入れ、まずはじめに偶数ページを印刷します。

②偶数ページの印刷された面を上向きに（用紙の上が手前にくるように）して、１枚目が１番上、２枚目が上から２番目になるように用紙を重ねて記録紙トレイに用紙を入れ、奇数ページを印刷します。

1枚目の用紙にレターヘッド用紙を使用する場合

①レターヘッドが印刷された面を上向きにして用紙の一番上に置き、記録紙トレイに用紙を入れ、偶数ページを印刷します。

②偶数ページの印刷された面を上向きにして、レターヘッドが印刷された1枚目が1番上、2枚目が上から2番目になるように用紙を重ねて記録紙トレイに用紙を入れ、奇数ページを印刷します。

●手差しスロットの場合

手差しスロットに用紙を挿入するときは上面が、印刷面になります。

①手差しスロットに挿入した用紙の上面に偶数ページを印刷します。

②偶数ページの印刷された面を下向きにして手差しスロットに挿入し、上面に奇数ページを印刷します。

1枚目の用紙にレターヘッド用紙を使用する場合

①レターヘッドが印刷された面を下向きにして手差しスロットに挿入し、まずはじめに2ページ目を印刷します。

②レターヘッドが印刷された面を上向きに手差しスロットに挿入し、1ページ目を印刷します。

記録紙トレイから手動両面印刷する

プリンタドライバの［拡張機能］タブで、両面印刷を設定する

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.32 を参照してください。

① A|B（両面印刷）をクリックします。

②「手動両面印刷」チェックボックスをチェックします。

③「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。

プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定する

「［基本設定］タブでの設定項目」P.29 を参照してください。

●給紙方法：トレイ 1

印刷の詳細については、「印刷する」P.14 などを参照してください。

まず用紙の片面に偶数ページを印刷する

パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。

［OK］をクリックする

偶数ページの印刷が開始されます。

パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されるので、画面の指示にしたがう

補足

記録紙トレイを使った手動両面印刷で、偶数ページの印刷が終了して奇数ページの印刷を開始するときは、記録紙トレイ内に残っている用紙を一度取り出してください。その後、偶数ページを印刷した用紙のみを記録紙トレイに入れてください。そのとき印刷する面を上向きに入れてください。（印刷されていない用紙の上に、印刷された用紙を重ねないでください。）

［OK］をクリックする

奇数ページの印刷が開始されます。

手差しスロットから手動両面印刷する

プリンタドライバの［拡張機能］タブで、両面印刷を設定する

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.32 を参照してください。

① A|B（両面印刷）をクリックします。

②「手動両面印刷」チェックボックスをチェックします。

③「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。

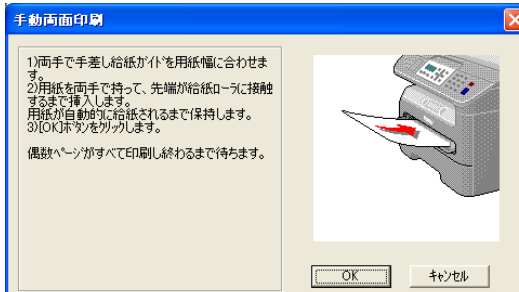
プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定する

「［基本設定］タブでの設定項目」P.29 を参照してください。

●給紙方法：手差し

印刷の詳細については、「手差しスロットを使用して印刷する」P.15 などを参照してください。

偶数ページの印刷する面を上にして、手差しスロットに用紙を挿入する

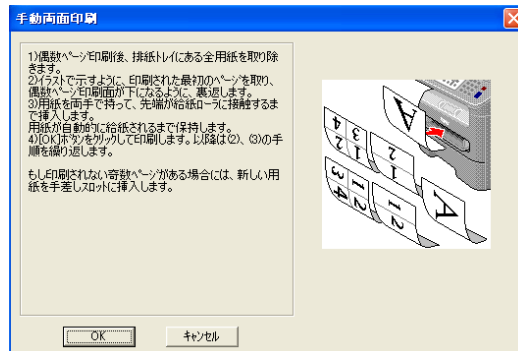
パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。

［OK］をクリックする

偶数ページの印刷が開始されます。

すべての偶数ページの印刷が終了するまで、手順３の作業を繰り返す

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2/3)
付録

すべての偶数ページの印刷が終了したら、偶数ページが印刷された用紙を取り、奇数ページを印刷する面を上向きにして手差しスロットに挿入する

パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。

［OK］をクリックする

奇数ページの印刷が開始されます。

すべての奇数ページの印刷が終了するまで、手順６の作業を繰り返す

操作パネルからの操作

印刷をキャンセルする

本製品内のメモリーに蓄積されている印刷用データの消去および印刷中のジョブをキャンセルします。

MFC-7340/MFC-7840Wの場合

キャンセルを押す

メモリー内のデータが消去されます。

補足

すべての印刷用データやジョブを消去したい場合は、液晶ディスプレイに「ジョブキャンセル（全て）」と表示されるまでキャンセルを押します。

DCP-7030/DCP-7040の場合

キャンセルを押す

メモリー内のデータが消去されます。

補足

すべての印刷用データやジョブを消去したい場合は、液晶ディスプレイに「ジョブキャンセル（全て）」と表示されるまでキャンセルを押します。

フォントリストの出力（MFC-7840Wのみ）

本製品の内蔵フォントリストを印刷できます。

メニュー、4、1、1の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

スタートを押す

フォントリストが出力されます。

停止/終了を押す

プリンタ設定内容リストの出力

現在のプリンタの設定内容を印刷できます。

MFC-7840Wの場合

、、、の順に押す

または で選択して OK で決定することも可能です。

を押す

プリント設定内容が出力されます。

を押す

DCP-7030/DCP-7040の場合

メニュー を押し または で「1. 基本設定」を選択して OK を押す

または で「6. 設定内容リスト」を選択して OK を押す

を押す

プリント設定内容が出力されます。

を押す

テスト印刷（MFC-7840Wのみ）

印刷の品質をテスト印刷して確認します。

の順に押す

または で選択して OK で決定することも可能です。

を押す

テスト印刷が出力されます。

を押す

プリント設定の初期化（MFC-7840Wのみ）

プリント設定内容をお買い上げ時の状態にすることができます。

メニュー、4 GHI、2 ABC の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

1 を押す

プリント設定内容が初期化されます。

停止/終了 を押す

印刷状況を確認する（ステータスモニタ）

ご使用のコンピュータからステータスモニタで本製品の状態を確認できます。

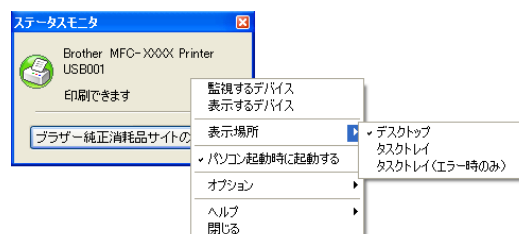
ステータスモニタを起動する

［スタート］メニューの［すべてのプログラム］ー［Brother］ー［(モデル名)］ー［ステータスモニタ］の順に選択する

ステータスモニタウインドウが表示されます。

ステータスモニタウインドウ上で右クリックし、メニューから［パソコン起動時に起動する］をクリックしてチェックする

ステータスモニタウインドウ上で右クリックし、メニューの［表示場所］から、ステータスモニタを表示させたい場所を選択してチェックする

ステータスモニタが選択した表示場所に表示されます。

補足

- タスクバーの通知領域にあるステータスモニタアイコンを右クリックしても手順2～3の操作が可能です。
- ［パソコン起動時に起動する］のチェックをはずすと、次回起動時からステータスモニタは表示されません。本製品の状態を確認する必要がなく、印刷速度を上げたい場合は、ステータスモニタを非表示にしてください。

本製品の状態を確認する

ステータスモニタアイコンの色で本製品の状態を見分けることができます。

● 緑色のアイコン

本製品は正常に動作しています。

● 黄色のアイコン

本製品は警告状態です。

● 赤色のアイコン

本製品に何らかのエラーが発生しています。エラーが発生しているときは、本製品の状態を確認してください。問題の解決方法は、「画面で見るマニュアル(HTML形式)」の「こんなときは」を参照してください。

プリンタドライバの設定をする

プリンタドライバは、本製品をプリンタとして使用するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバは、CD-ROMに収録されています。最新のプリンタドライバは、以下のサイトからダウンロードすることもできます。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））
ここでは、プリンタドライバの機能について説明します。表示される画面はご使用のOSにより異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。
本製品でコンピュータから印刷する際にプリンタドライバで各種の設定をすることができます。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

各項目を設定する

設定内容の詳細はP.29を参照してください。

［OK］をクリックする

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順3で［標準に戻す］をクリックしてから［OK］をクリックします。

ドライバでの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、お使いのアプリケーションの設定が有効となるものもありますので、同時に使用しないでください。

[基本設定] タブでの設定項目

設定後［OK］をクリックして、選択した設定を確定します。
標準設定に戻すときは［標準に戻す］をクリックします。

① 現在の設定状態

この部分には、用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、拡大縮小、部数、部単位など、現在の設定状態が表示されます。

② 用紙サイズ

プルダウンメニューから、使用する［用紙サイズ］を選択します。

- A4
- レター
- リーガル
- A5
- A5(横)
- A6
- B5
- ハガキ
- 洋形4号
- 洋形定形最大
- A3
- B4
- ユーザ定義

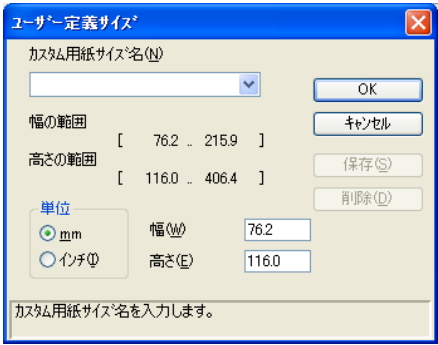
＜ユーザー定義サイズ＞

本製品は下記の範囲内で、任意の用紙サイズを印刷することができます。

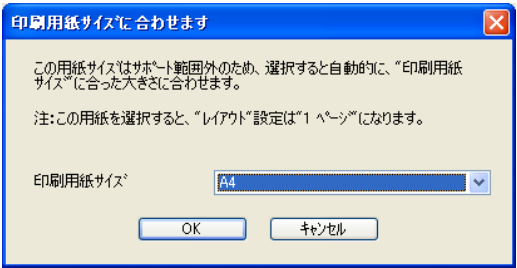
最小　76.2×116ミリメートル（3×4.57インチ）

最大　215.9×406.4ミリメートル（8.5×16インチ）

このオプションでは特定の大きさの用紙を次の方法で登録できます。

1. 使いたい用紙のサイズを計ります。
2. ［用紙サイズ］から［ユーザー定義 ...］を選択すると、右のダイアログボックスが表示されます。
3. ［カスタム用紙サイズ名］に用紙サイズを入力します。
4. 単位は［mm］か［インチ］を選択します。
5. ［幅］と［高さ］を指定します。
6. ［保存］をクリックして用紙サイズを登録します。必要に応じて［削除］をクリックすることで、あらかじめ登録してある用紙サイズを削除することができます。
7. ［OK］をクリックすると、設定した値をユーザー定義サイズとして使用することができます。

＜印刷用紙サイズに合わせます＞

［用紙サイズ］から［A3］または［B4］を選択すると、右のダイアログボックスが表示されます。

本製品で対応していない用紙サイズ（A3、B4）を仮想の用紙サイズとして選択可能にしています。これらの用紙サイズは、ダイアログボックスの［印刷用紙サイズ］で印刷可能サイズに変換して印刷します。

③ レイアウト

イメージのサイズを縮小して複数のページを1枚の用紙に印刷したり、イメージのサイズを拡大して1枚のページを複数の用紙に印刷できます。

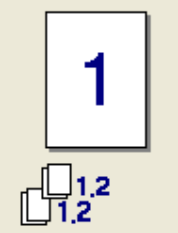
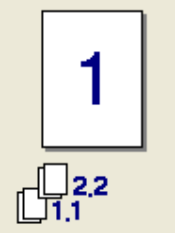
例：４枚を１ページに縮小印刷

例：１枚を４ページに拡大印刷

仕切り線

［レイアウト］機能で複数のページを１枚の用紙に印刷する場合、各ページを仕切る線を「――――」（実線）、「---------」（破線）、「なし」から選択できます。

④ 印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を選択します。

縦選択時	横選択時
1	1

⑤ 部数

印刷する部数を設定します。

部単位

複数の部数が選択されている場合に、この項目が有効になります。［部単位］のチェックボックスをチェックすると、文書全体が1部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。［部単位］チェックボックスが未チェックの場合は、文書の各ページが設定された部数分だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

⑥ 用紙種類

使用する用紙のタイプを選択します。用紙の種類にあった用紙媒体を選択することによって、印刷品質が向上します。

- 普通紙
- 普通紙（厚め）
- 厚紙（ハガキ）
- 超厚紙
- ボンド紙
- OHP
- 封筒
- 封筒（厚め）
- 封筒（薄め）
- 再生紙

市販されている普通紙やコピー用紙に印刷する場合は、［普通紙］を選択します。

市販されている普通紙やコピー用紙で厚めのものに印刷する場合は、［普通紙（厚め）］を選択します。

厚めの用紙を使用している場合は、［厚紙］を選択します。［厚紙］を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合は、［超厚紙］を選択します。

再生紙には［再生紙］を選択します。

⑦ 給紙方法

1ページ目に使用するトレイを選択します。

- 自動選択
- トレイ1
- 手差し

2ページ目以降で使用するトレイを選択します。

- 1ページ目と同一
- トレイ1
- 手差し

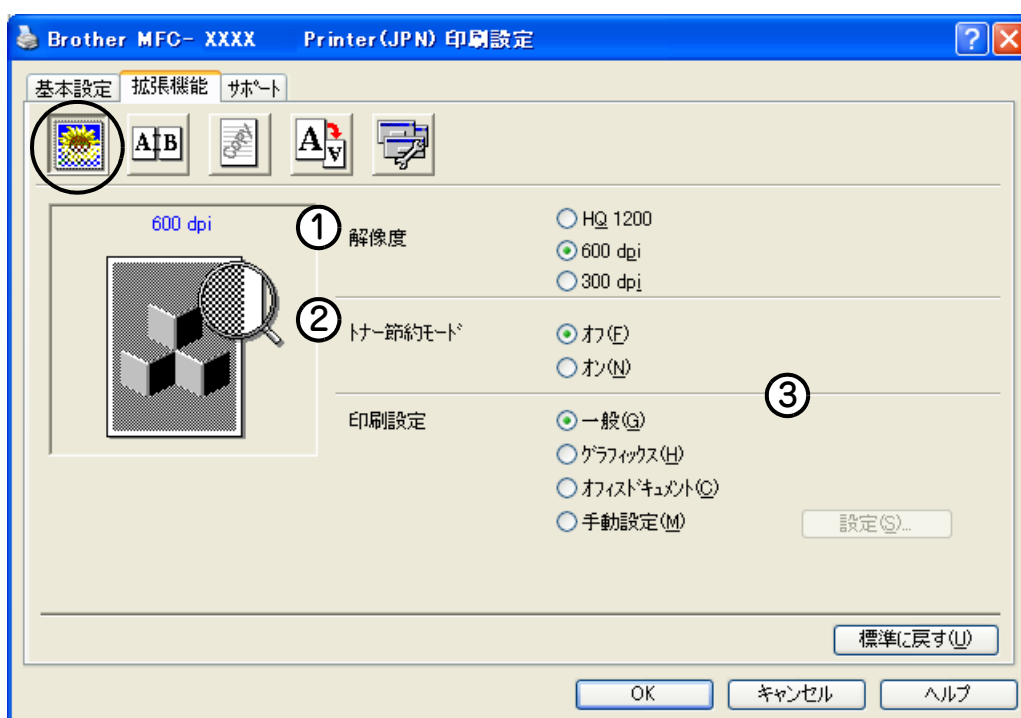
補足

手差しスロットに記録紙がある場合は、ドライバの[給紙方法]の設定で「自動選択」か「トレイ1」が選択されていても、手差しスロットから給紙します。

[拡張機能] タブでの設定項目

タブの設定を変更するには、画面の中のいずれかのアイコンを選択します。

Windows®のプリンタ共有機能を使って印刷する場合、ご使用のOSの種類の組み合わせなどの環境によっては、拡張機能が使用できない場合があります。

印刷品質

①解像度

解像度を次の3種類から選択します。

「HQ1200」：　1 インチあたり 2400 × 600 ドットの解像度で印刷します。
「600 dpi」：　1 インチあたり 600 × 600 ドットの解像度で印刷します。
「300 dpi」：　1 インチあたり 300 × 300 ドットの解像度で印刷します。

注意

■"メモリーフル"エラーがでる場合は、解像度を下げて印刷してください。

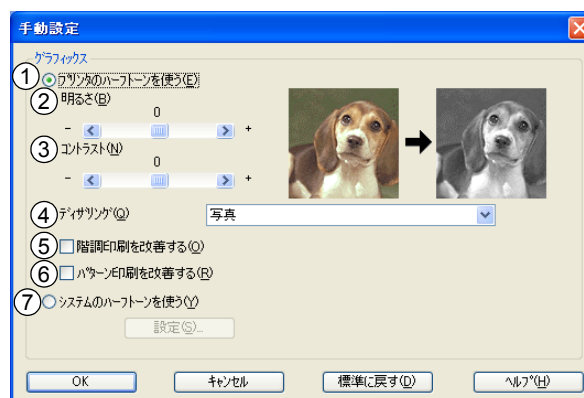
②トナー節約モード

トナー節約モードで印刷することにより、消費するトナーを節約してランニングコストを節減することができます。

③印刷設定

印刷設定を使って最適なオプション設定を選択します。

「一般」：　一般的な印刷モードです。
「グラフィックス」：　写真、およびグラフィックスなどの線やグラデーションに最適な印刷モードです。
「オフィスドキュメント」：　ビジネス文書、プレゼンテーション資料など文字、グラフ、チャートが多い印刷に最適な印刷モードです。
「手動設定」：　手動設定を選択した場合、［設定］をクリックして設定を変更できます。

手動設定の詳細

①プリンタのハーフトーンを使う　グラフィックを印刷するときにプリンタのハーフトーンを使用します。

②「明るさ」：　スクロールバーを右へ移動させ数字を増やすと、より明るくなった印刷結果が得られます。数字を減らすと、より暗くなった印刷結果が得られます。

③「コントラスト」：　スクロールバーを右へ移動させ数字を増やすと、コントラストが強くなり、暗い部分はより暗く、明るい部分はより明るく印刷されます。
数字を減らすとコントラストが弱くなり、暗い部分と明るい部分の差が少なくなった印刷結果が得られます。

④「ディザリング」：　ディザリングは、印刷パターンを生成する方法を指定するものです。本製品では白黒印刷のみが可能ですが、下記のパターンを使用するとハーフトーン（灰色の濃淡）の印刷が可能になります。
それぞれの設定でグラフィックスイメージを試し印刷し、どの設定が最適かを判断し、選択してください。

・写真
写真など階調が連続している印刷に適した設定です。
暗部の微妙な階調の変化を再現できます。

・グラフィックス
グラフィックスなど、線やグラデーションに適した設定です。はっきりした濃さの表現になります。写真を印刷した場合、コントラストの大きい印刷になります。

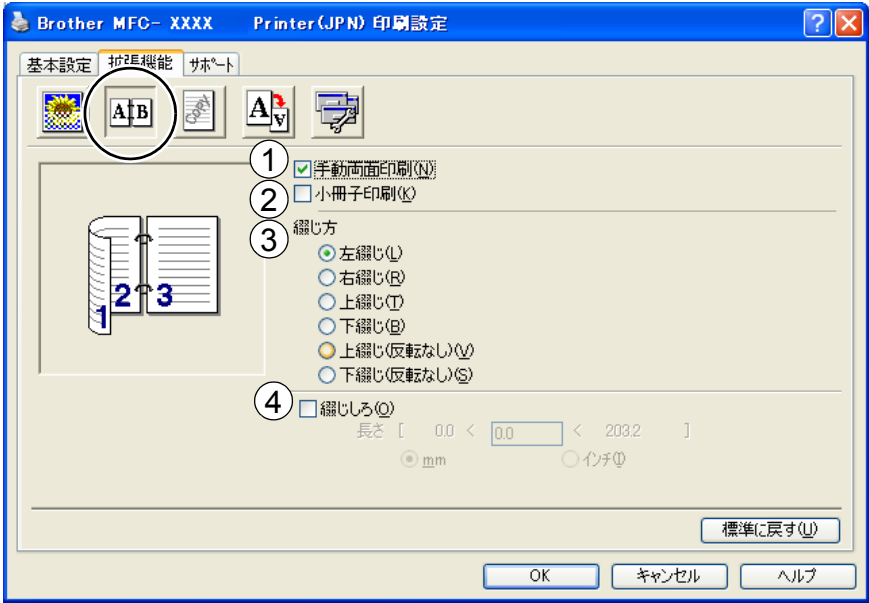
・チャート / グラフ
ビジネス文書やプレゼンテーション資料など、文字・グラフ・チャートが多い印刷に適した設定です。
同じ濃さの領域は、ざらつきを少なく印刷します。

⑤「階調印刷を改善する」：　階調部分がきれいに印刷されない場合に、チェックボックスをチェックします。

⑥「パターン印刷を改善する」：　グラフのようにパターンが含まれる図形において、印刷されたパターンがパソコンの画面上に表示されたものよりも細かい場合は、このチェックボックスをチェックすることで改善される場合があります。アプリケーションソフトによっては、チェックしても改善されない場合があります。

⑦システムのハーフトーンを使う　グラフィックを印刷するときにシステムのハーフトーンを使用します。［設定］をクリックして設定を変更します。

手動両面印刷

手動両面印刷の設定ができ、6種類の綴じ方や綴じしろの設定ができます。
印刷の詳細は「手動両面印刷する」P.19 を参照してください。

①手動両面印刷

はじめに偶数ページ（裏面）をすべて印刷します。プリンタがいったん停止して、偶数ページ（裏面）が印刷された用紙の再セットを促す指示メッセージが表示されます。メッセージの指示にしたがって用紙を再セットし、［OK］をクリックすると、奇数ページ（表面）の印刷を開始します。

②小冊子印刷

両面印刷機能とレイアウト機能の「2 ページ」（2 ページ分を1 枚の用紙で印刷）を組み合わせることで、小冊子のような印刷物を作ることができます。

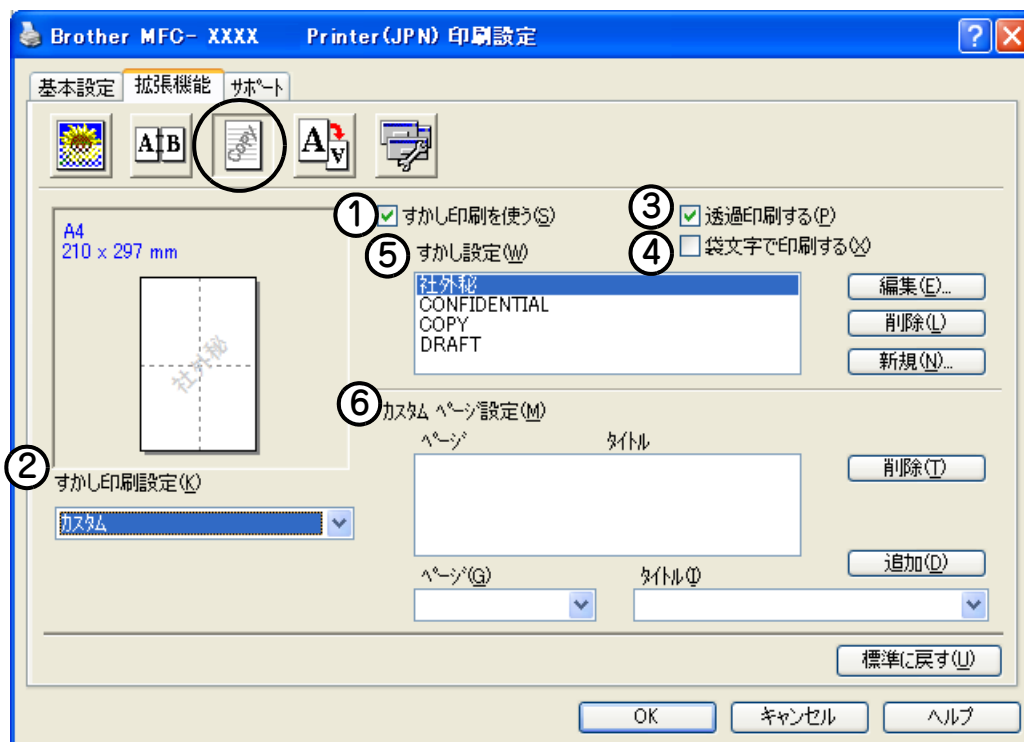
③綴じ方

印刷の向き、縦または横など6種類の綴じ方があります。

④綴じしろ

「綴じしろ」を選択すると、綴じしろの量をインチまたはミリメートルで設定できます。

すかし設定

ロゴや本文をすかし絵として文書に入れることができます。あらかじめ設定されたすかしの一つを選択するか、作成済みのビットマップファイル、またはテキストをすかしとして新規に登録して使うことができます。
［すかし印刷を使う］をチェックして、使いたいすかしを選択してください。

① すかし印刷を使う

チェックボックスをチェックすると、すかしの選択ができます。

② すかし印刷設定

以下に示す選択項目があります。

- 全ページ
- 開始ページのみ
- 2ページ目から
- カスタム
  ページごとに異なるすかしを設定できます（⑥参照）。

③ 透過印刷する

チェックボックスをチェックすると、ページ上の文書に対し透過してすかしが印刷されます。

④ 袋文字で印刷する

チェックボックスをチェックすると、すかしが袋文字で印刷されます。

⑤ すかし設定

選択したすかしが左のプレビュー画面に表示されます。
すかし印刷設定（②）で［全ページ］、［開始ページのみ］、［2ページ目から］を選択した場合、指定のページにはここで選択したすかしが印刷されます。

⑥ カスタムページ設定

すかし印刷設定（②）で［カスタム］を選択すると、ページごとに異なるすかしを設定できます。

● 設定の追加

［ページ］にすかしを設定したいページを入力します。

［タイトル］で使用したいすかしを選択します。

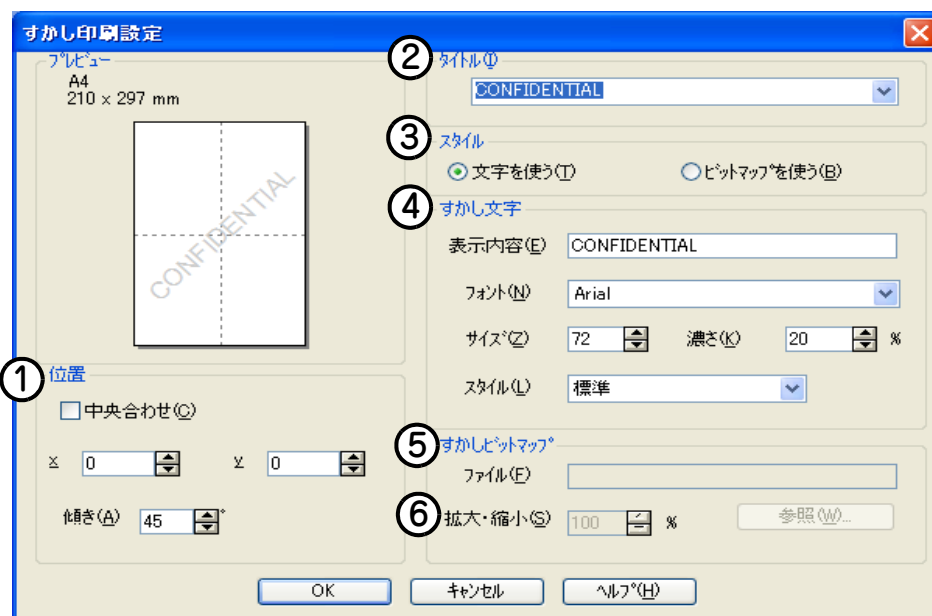
［追加］をクリックします。設定テーブル（左の枠）に追加表示されます。

● 設定の削除

設定テーブルで、削除したいページの設定を選択します。

［削除］をクリックします。すかしが削除され、設定テーブルに表示されなくなります。

● すかし印刷設定

すかしを選択し、［編集］ボタンを押すと、選択したすかしの設定情報が表示されます。
また、これらの設定値はすべて変更することができます。
新しいすかしを追加したい場合は、［ 新規 ］ボタンをクリックし、［タイトル］および［スタイル］の［文字を使う］または［ビットマップを使う］を選択し、その他の情報を設定します。

① 位置

ページ上のすかし絵を配置する位置を設定します。

② タイトル

設定したすかし絵のタイトルを設定します。ここで設定したタイトルは、［すかし設定］に表示されます。

③ スタイル

新しく追加するすかし絵が、文字かビットマップかを選択します。

④ すかし文字

すかし絵の文字を［表示内容］ボックスに入力して、フォント、サイズ、スタイルを選択します。

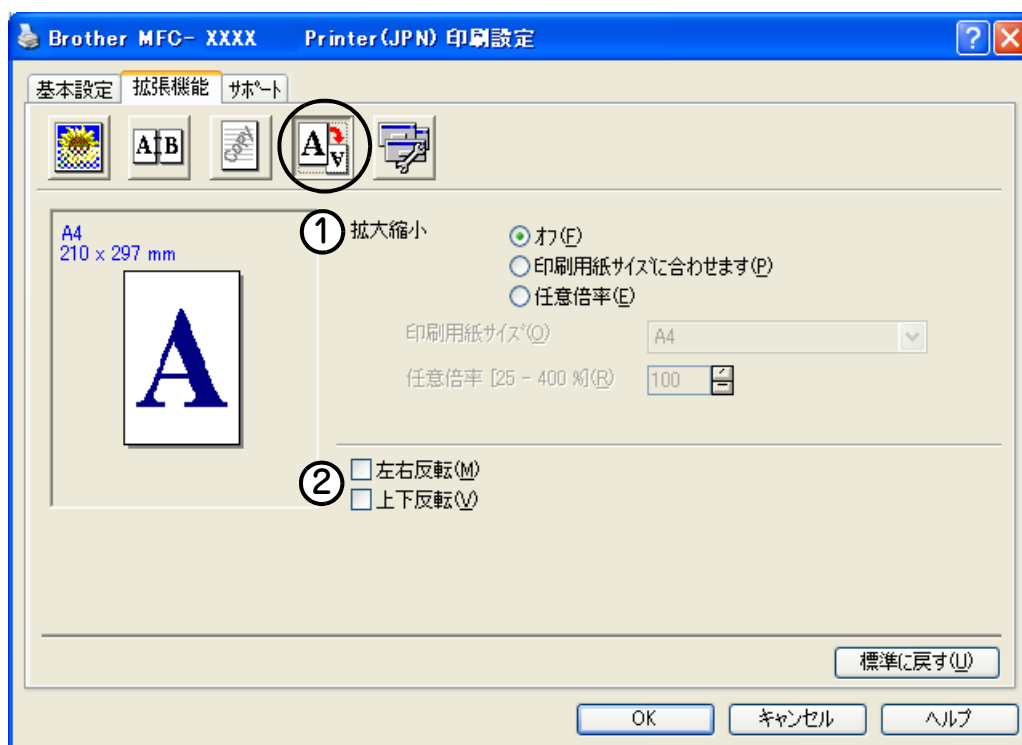
⑤ すかしビットマップ

［ファイル］ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、
［参照］ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定します。

⑥ 拡大・縮小

イメージのサイズを設定します。

ページ設定

拡大縮小機能を使用して文書の印刷サイズを変更できます。

① 拡大縮小

文書を作成したサイズどおりに印刷する場合は、［オフ］を選択します。記録紙サイズに合わせて倍率を変えたい場合は、［印刷用紙サイズに合わせます］を選択して、用紙サイズを選択します。
倍率を指定する場合は、［任意倍率］を選択して、倍率を指定します。

② 左右反転 / 上下反転

［左右反転］機能や［上下反転］機能をページの設定に使用することもできます。

その他特殊機能

［その他の特殊機能］で各機能を設定できます。

補足
お使いのアプリケーションソフトによって設定できる内容が異なります。

● セキュリティ印刷 (MFC-7840W のみ)

コンピュータから本製品に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信してただちに印刷すると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合は、セキュリティ印刷が役に立ちます。セキュリティ印刷の流れは以下のとおりです。

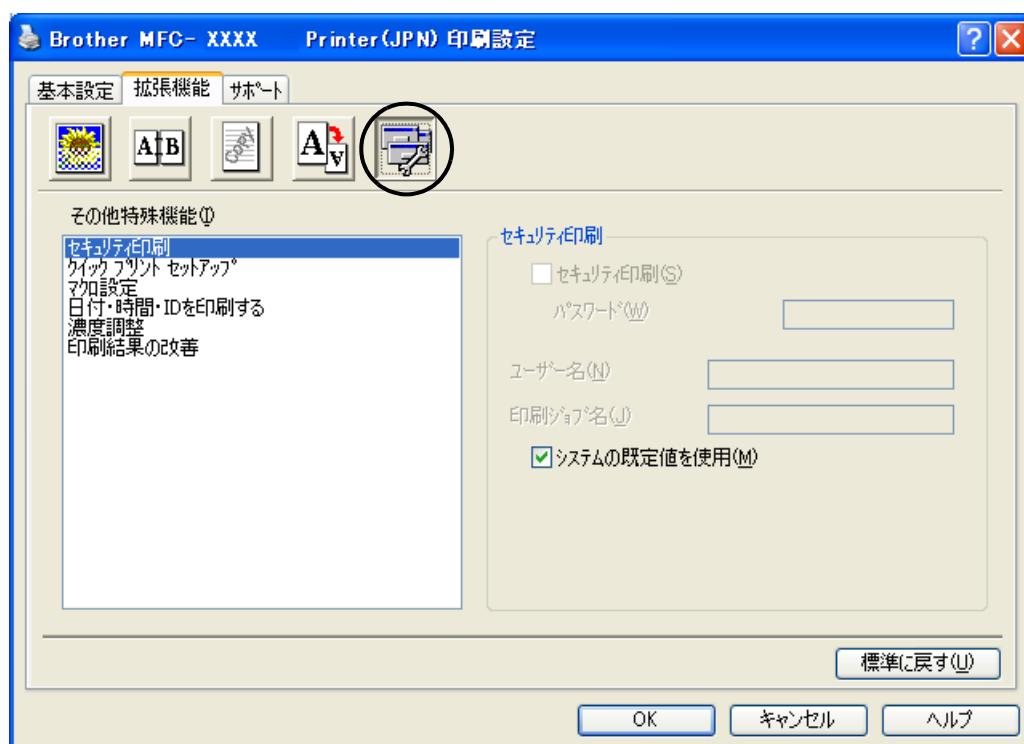
コンピュータ側でセキュリティ印刷機能をオンにして、パスワードを設定する
▼
コンピュータで印刷を実行する
▼
印刷データが本製品に届き、本製品内に保持される
▼
本製品の操作パネルでパスワードを入力すると、データが印刷される

パスワードが設定されていると、本製品は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データは本製品の電源をオフにすると消去されます。
パスワードを入力して印刷後、データはメモリーからクリアされます。

● コンピュータ側の操作

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

［印刷設定］ダイアログボックスの［拡張機能］タブで、［その他特殊機能］をクリックする

［セキュリティ印刷］で、［セキュリティ印刷］チェックボックスにチェックを付ける

パスワード（半角数字４桁）、ユーザー名、印刷ジョブ名を設定する

［OK］をクリックする

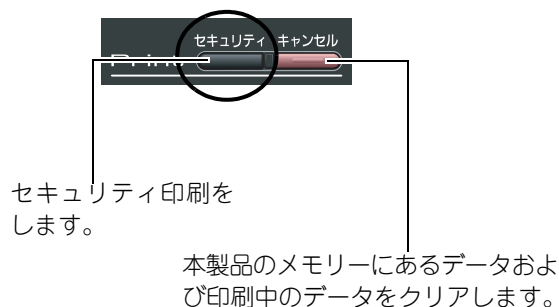
［印刷］ダイアログボックスで印刷を実行する

● 本製品の操作

8 **セキュリティを押す**

メモリーにセキュリティデータがない場合は、「データがありません」と表示されます。

セキュリティ印刷をします。

本製品のメモリーにあるデータおよび印刷中のデータをクリアします。

9 **▲または▼を押してユーザーを選択し、OKを押す**

▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
Brother

10 **▲または▼を押して印刷したいデータを選択し、OKを押す**

▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
TEST1

11 **４桁のパスワードを入力し、OKを押す**

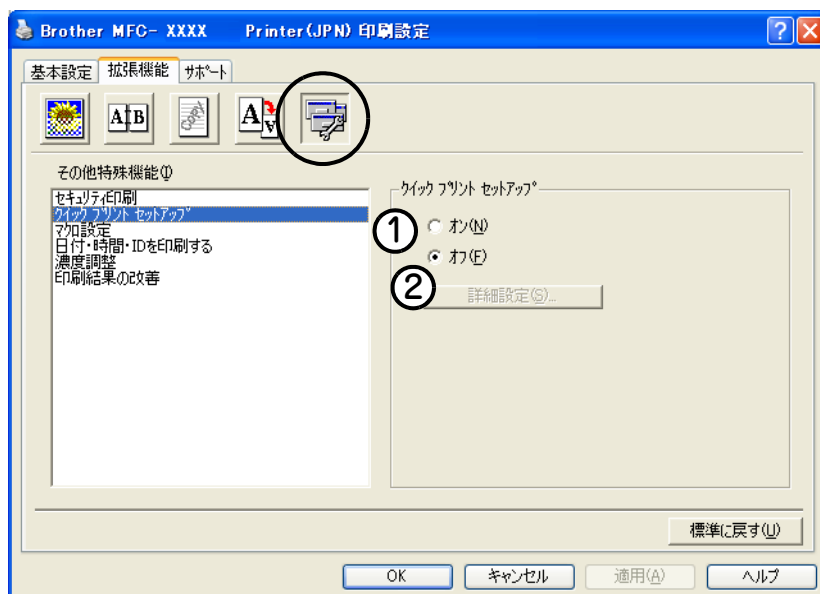
入力&OKﾎﾞﾀﾝ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:XXXX

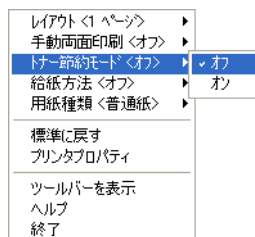
12 **▲または▼を押して「プリント」を選択し、OKを押す**

▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾄ

- 印刷を開始します。
- 印刷をしないでデータを削除する場合は、▲または▼を押して「消去」を選択し、OKを押してください。

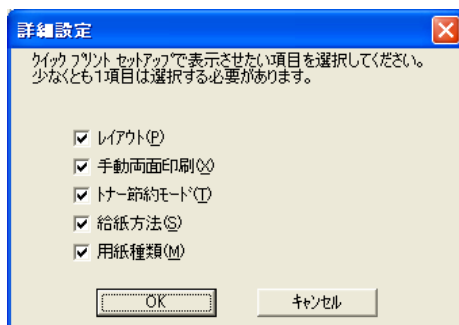
● クイックプリントセットアップ

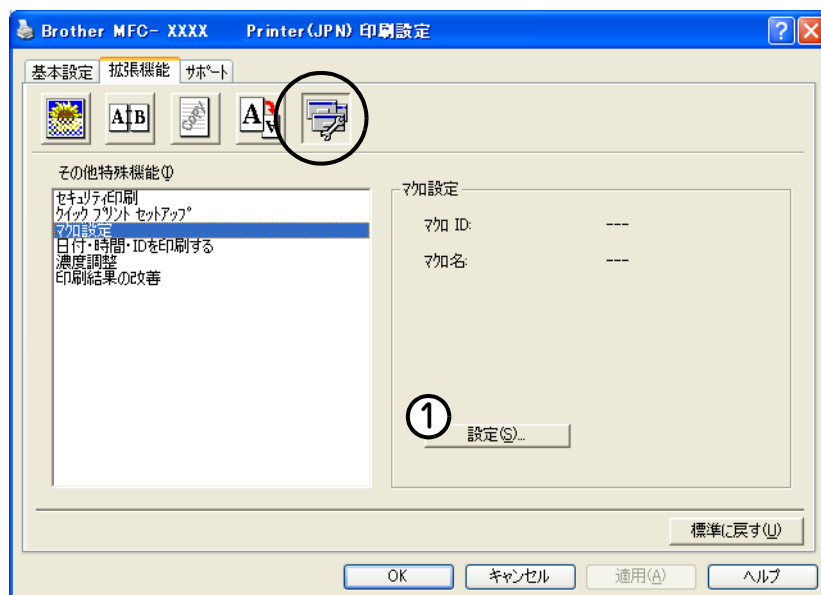
ドライバの設定を素早く選択できます。

① クイックプリントセットアップ　オン / オフ

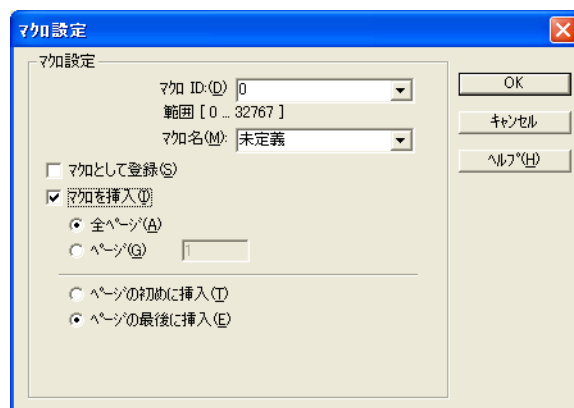
クイックプリントセットアップを［オン］にすると、ドライバ設定をすばやく選択することができます。タスクバーの通知領域のアイコン をクリックするだけで、設定を確認できます。

下記の5つの項目を設定できます。

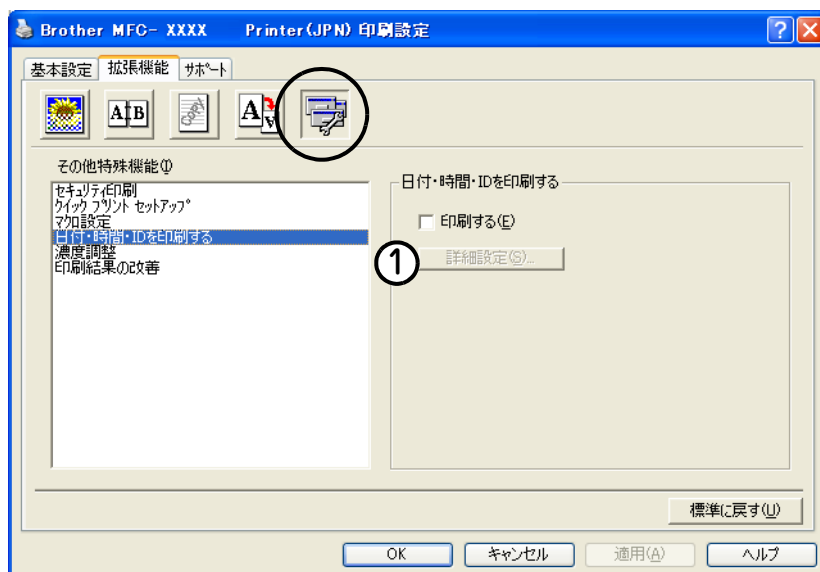
・レイアウト
・手動両面印刷
・トナー節約モード
・給紙方法
・用紙種類

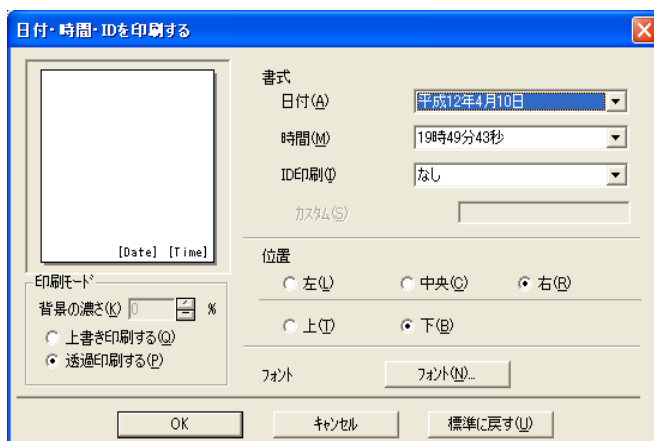
② 詳細設定ボタン

［詳細設定］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。クイックプリントセットアップ機能使用時に、表示させたい項目のチェックボックスをチェックします。

● マクロ設定 (MFC-7840W のみ)

マクロとして、本製品のメモリーに文書を登録することができます。登録したマクロは、印刷時に実行して、文書にオーバーレイとして印刷できます。
フォーム、会社ロゴ、手紙の書き出し文、送り状など、よく使う情報を登録してご使用になると便利です。

① 設定ボタン

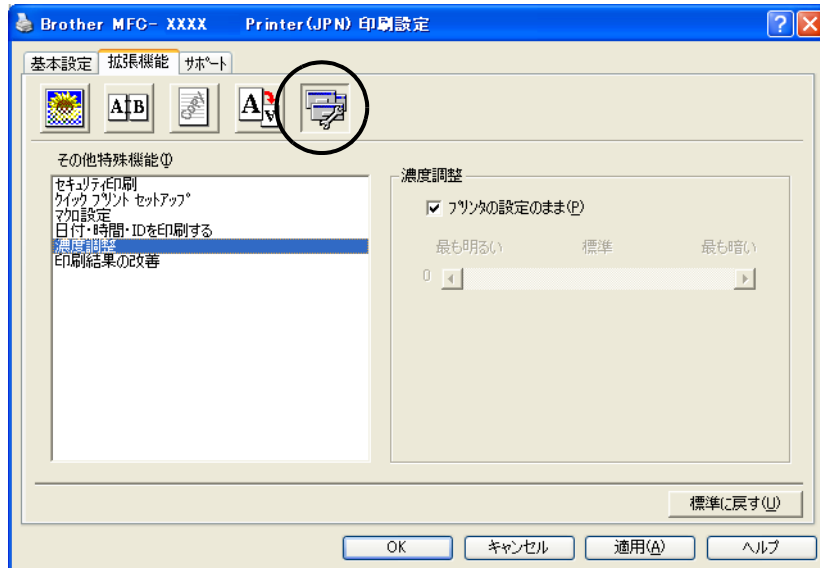
［設定]ボタンをクリックすると、［マクロ設定］ダイアログボックスが表示されます。各項目を設定してください。

● 日付・時間・IDを印刷する

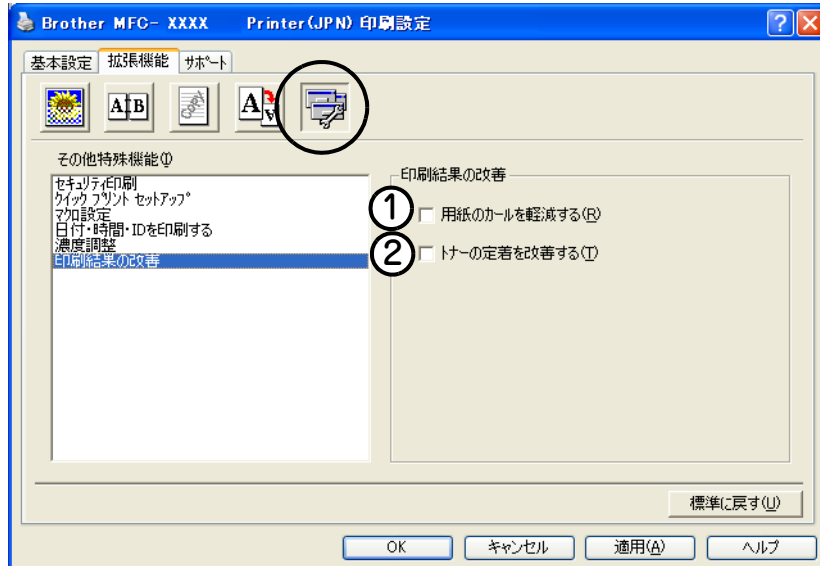
印刷した日付と時間、ユーザーを識別するためのID情報を設定したフォーマットで文書に印刷できます。

①詳細設定ボタン

日付・時間・IDの設定をするには、［印刷する］チェックボックスをチェックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。［日付・時間・IDを印刷する］ダイアログボックスが表示されます。

印刷モード、日付と時間の書式、ID印刷、位置、フォントを設定します。

- 印刷モード
  ［上書き印刷する］を選択すると、［背景の濃さ］で設定した濃度で、付加する文字の背景に色を付けて印刷します。
  ［透過印刷する］を選択すると、付加する文字だけ印刷されます。
- ID印刷
  ［ログインユーザー名］を選択すると、パソコンにログインしたユーザー名が印刷されます。
  ［カスタム］を選択すると、［カスタム］欄に入力した名前が印刷されます。

● 濃度調整

印刷時のトナーの密度を調節できます。
初期設定は、「プリンタの設定のまま」です。
手動でトナーの密度を変更するときは、「プリンタの設定のまま」チェックボックスのチェックを外し、調節します。

● 印刷結果の改善

印刷時の品質を改善することができます。

①用紙のカールを軽減する

印刷された用紙のカールが大きい場合、「用紙のカールを軽減する」チェックボックスをチェックすることでカールが軽減される場合があります。
チェックしても改善されない場合は、［基本設定］タブの用紙種類P.31をより薄いものに変更してください。

②トナーの定着を改善する

印刷された用紙からトナーが剥がれてしまう場合、「トナーの定着を改善する」チェックボックスをチェックすることで改善される場合があります。
チェックしても改善されない場合は、［基本設定］タブの用紙種類P.31をより厚いものに変更してください。

［トレイ設定］タブでの設定項目

［基本設定］タブの給紙方法P.29で「自動選択」を選択したときに、印刷する用紙サイズに対して、どのトレイから給紙するかを設定します。

補足

●アプリケーションソフトの［ファイル］メニューの［印刷］から表示したプリンタドライバの設定画面では、［トレイ設定］タブが表示されない場合があります。プリンタドライバの設定画面は、次の手順で［スタート］メニューから表示してください。

①Windows XP® の場合は、［スタート］メニューから［プリンタとFAX］をクリックします。
Windows® 2000の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。
Windows Vista® の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。

②「Brother MFC-XXXX」のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

③［トレイ設定］タブをクリックします。

［適用］または［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す］をクリックします。

① 給紙方法の設定

「給紙先」を選択し、選択したトレイにセットされている用紙サイズを「用紙サイズ」から選択して［変更］をクリックします。

- 給紙方法の規定値
  用紙サイズに該当するトレイがない場合に、ここで設定したトレイが選択されます。

② シリアル番号

［自動検知］をクリックすると、認識されたシリアル番号が表示されます。
認識されなかった場合は、「---------」と表示されます。

補足

自動検知機能は、本製品の条件によっては利用できない場合があります。

［サポート］タブでの項目

ドライバのバージョンと設定情報が示されます。また、［Brother Solutions Center］へのリンクもあります。
サポートタブをクリックすると、次の画面が表示されます。

① Brother Solutions Center

FAQ（よくある質問）、ユーザーズガイド、ドライバ更新、機器の使用上のヒントなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているウェブサイトです。

② 設定の確認

クリックすると、現在の基本的なドライバ設定の一覧が表示されます。

③ ブラザー純正消耗品のご案内

ブラザー純正の消耗品についての情報を提供しているホームページが表示されます。

Windows®編

2章

スキャナとして使う

スキャナとして使う前に

必要な準備

本製品をスキャナとして使用する場合は、以下の準備が必要です。

スキャナドライバをインストールする

付属のCD-ROMに収録されているドライバのインストールが必要です。「かんたん設置ガイド」に従ってインストールしてください。詳しくは、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

ただし、以下の場合はドライバのインストールは不要です。

- 「スキャンした原稿をEメールで送る【スキャン to Eメール添付】」P.53
- 「スキャンした原稿をFTPサーバーに送る【スキャン to FTP】」P.61

ネットワークを設定する（MFC-7840W ネットワーク経由でスキャンする場合のみ）

ネットワーク経由で本製品のスキャン機能を使用するには、本製品にTCP/IPの設定が必要です。ネットワークプリンタとしてのTCP/IP設定がすでに完了していれば設定済みですが、そうでない場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」の「ネットワーク設定」または「無線LANの設定」を参照してください。

補足

Windows® XP/Windows Vista®で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、ネットワーク経由でスキャンできないときは、ポート52925と137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

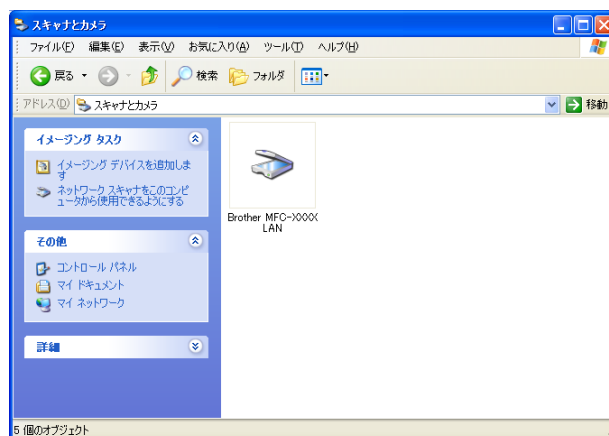
設定の変更（ドライバがインストール済みの場合）

ドライバがすでにインストールされている場合、以下の手順に従って設定を変更してください。

「スキャナとカメラ」アイコン スキャナとカメラ をダブルクリックする

- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［コントロールパネル］－［スキャナとカメラ］を選択します。
- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］－（［プリンタとその他のハードウェア］）－［スキャナとカメラ］を選択します。
- Windows Vista®の場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］をクリックして開き、「ハードウェアとサウンド」から［スキャナとカメラ］をダブルクリックして開きます。

スキャナのアイコンを選択し、［ファイル］ー［プロパティ］をクリックする

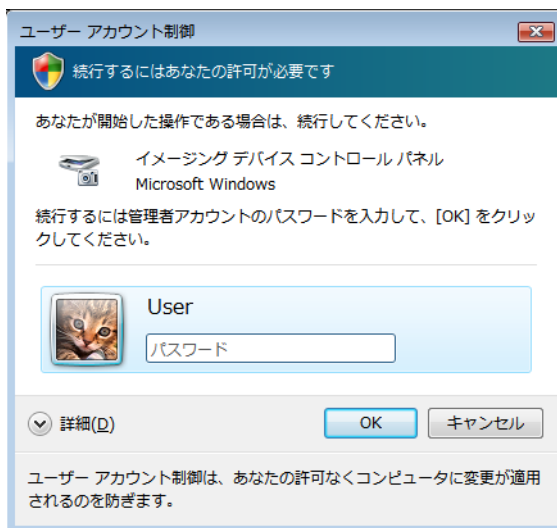
- アイコンを右クリックしたポップアップメニューからも操作できます。
- Windows Vista®の場合は、スキャナのアイコンを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

補足

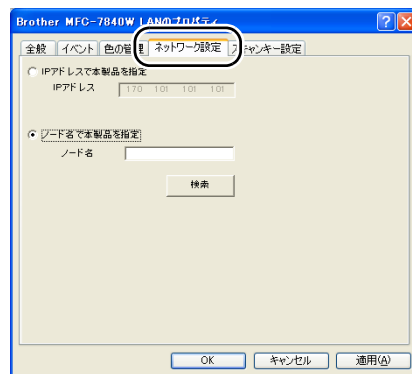
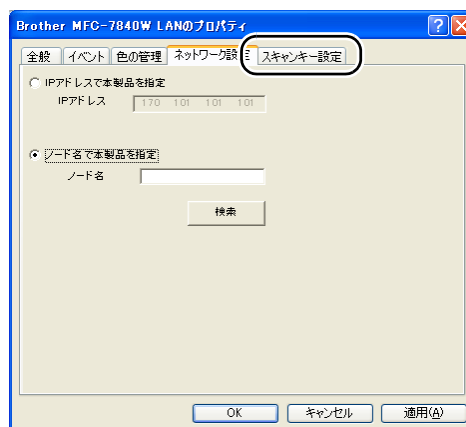
Windows Vista®の場合、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

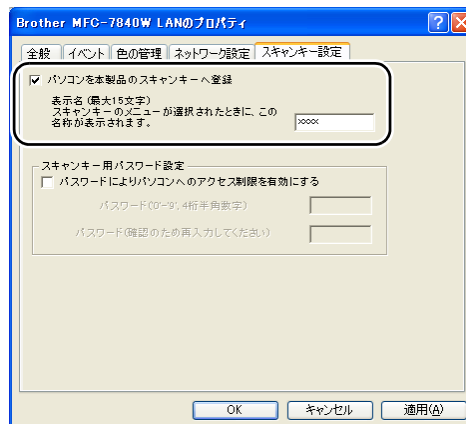
●管理者アカウントでログオンしているとき

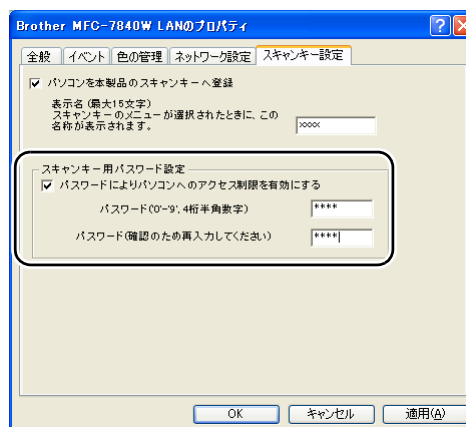
［続行］をクリックします。

●一般ユーザーでログオンしているとき

管理者アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

「ネットワーク設定」タブで設定項目を更新する

- IPアドレスを変更する場合
  本製品の IP アドレスを入力します。
- 名前を変更する場合
  本製品のノード名を「ノード名」欄に入力します。
- 使用可能な機器一覧から指定して変更する場合
  ［検索］をクリックし、既存の LAN 内からネットワークスキャンが使用できるブラザー製品を検索後、指定して［OK］をクリックします。

「スキャンキー設定」タブをクリックする

スキャン画像を取り込むコンピュータの名を登録する

本製品の「スキャン」ボタンを操作した時にコントロールパネル上に表示されるこのコンピュータ名です。初期設定は、お使いのコンピュータ名です。コンピュータ名は、マイコンピュータのプロパティ画面で確認できます。

他の人からのアクセス制限をしたい場合は、パスワードを設定する

パスワードを設定しておくと、ネットワークスキャンしたときに本製品側でパスワードを入力しなければスキャン画像が送信できなくなります。

［OK］をクリックする

設定が変更されます。

スキャン方法を選ぶ

スキャンの目的や操作方法などによって、最適なスキャン方法を選んでください。

やりたいこと	使用する機能またはアプリケーション	詳細	参照先
スキャンデータを送りたい	スキャン to Eメール添付	スキャンしたデータをコンピュータに送信し、Eメールの添付としてメールソフトが起動します。(複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。)	P.53
スキャンデータを編集したい	スキャン to イメージ	スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	P.55
	TWAIN/WIAドライバ対応のアプリケーション	解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	P.64
	スキャン to OCR	スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Word等で編集できます。	P.57
スキャンデータを保存したい	スキャン to ファイル	スキャンしたデータをコンピュータ上のハードディスクに保存します。	P.59
	スキャン to FTP※	スキャンしたデータを指定したFTPサーバーに保存します。	P.61

※ MFC-7840Wのみ

補足

●Presto!® PageManager®　は、スキャンした原稿ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、アラビア数字および図表の入った原稿を認識できます。変換したファイルは TXT 形式、RTF 形式、HTML形式、PDF形式で保存できるので、Microsoft® Word やAdobe® Acrobat®で編集できます。

●「Presto!® PageManager®」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋6-21-3
ニューソフトカスタマーサポートセンター
Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
受付時間：10：00 ～12：00 、13：00 ～17：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）
電子メール：support@newsoft.co.jp
ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

●TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。「WIA（Windows Image Acquisition）」はWindows®でデジタルカメラやスキャナなどからUSBなどを通して画像を取り込むためのものです。WIAはWindows® Meから採用された新しい機能なので、古い機種やソフトウェアなどは対応していないことがあります。

本製品のスキャンボタンからスキャンする

操作パネルの スキャン（MFC-7340/MFC-7840W）／ スキャン（DCP-7030/DCP-7040）を押してスキャンした原稿データを、コンピュータに送ってさまざまな形で利用します。

スキャンした原稿をEメールで送る【スキャン to Eメール添付】

スキャンした原稿を E メールに添付して取り込むことができます。スキャンした原稿データがコンピュータに届くと、メール送信画面が起動します。

MFC-7340/MFC-7840Wの場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「E メール : E メール添付」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
Eメール：Eメール添付

OK を押す

（ネットワーク接続の場合）

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信するコンピュータ名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピュータ名が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

OK を押す

スタート を押す

原稿のスキャンが開始されます。

DCP-7030/DCP-7040の場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲▼で選択&OKボタン
Eメール：Eメール添付

OK を押す

を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

- ●スキャンされた原稿が E メールの添付ファイルとして送信されます。ControlCenter3 で設定されているメールソフトが起動します。
- ●［スキャン］ボタンを使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter3　から変更できます。詳しくは P.114 を参照してください。
- ●ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

スキャンした原稿をアプリケーションに送る【スキャン to イメージ】

スキャンした原稿をコンピュータのアプリケーションに直接送ることができます。スキャンした原稿のデータがコンピュータに届くと、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、コンピュータの画面に表示されます。

MFC-7340/MFC-7840Wの場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「イメージ：PC画像表示」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
イメージ：PC画像表示

OK を押す

（ネットワーク接続の場合）

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信するコンピュータ名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピュータ名が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

OK を押す

スタート を押す

原稿のスキャンが開始されます。

DCP-7030/DCP-7040の場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「ｲﾒｰｼﾞ：PC画像表示」を選択する

▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
ｲﾒｰｼﾞ：PC画像表示

OK を押す

を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

ControlCenter3で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくはP.114を参照してください。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする【スキャン to OCR】

原稿が文字テキストであれば、Presto!® PageManager® を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

MFC-7340/MFC-7840Wの場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「OCR：テキストデータ変換」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
OCR：テキストデータ変換

OK を押す

（ネットワーク接続の場合）

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信するコンピュータ名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピュータ名が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

OK を押す

スタート を押す

原稿のスキャンが開始されます。

DCP-7030/DCP-7040の場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「OCR：テキストデータ変換」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
OCR：テキストデータ変換

OK を押す

を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

Presto!® PageManager®が起動し、画像データにOCR（光学的手法による文字認識）の処理が行われます。
認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャンした原稿を指定したフォルダに保存する【スキャン to ファイル】

スキャンした原稿を、コンピュータの指定したフォルダに保存します。保存の際のファイル形式および保存先フォルダの設定は、ControlCenter3で行います。詳しくは、P.115を参照してください。

MFC-7340/MFC-7840Wの場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「ファイル：フォルダ保存」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
ファイル：フォルダ保存

OK を押す

（ネットワーク接続の場合）

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信するコンピュータ名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピュータ名が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

OK を押す

スタート を押す

原稿のスキャンが開始されます。

DCP-7030/DCP-7040の場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

を押す

または を押して「ファイル：フォルダ保存」を選択する

▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
ﾌｧｲﾙ:ﾌｫﾙﾀﾞ 保存

OK
を押す

を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

●保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。
- 保存先フォルダ
  マイドキュメント¥マイピクチャ ¥ControlCenter3¥Scan
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_xxxxx
  yyyy：西暦
  mm：月
  dd：日
  xxxxx：通し番号

●ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

スキャンした原稿をFTPサーバーに送る【スキャン to FTP】（MFC-7840Wのみ）

操作パネルの スキャン を押してスキャンした原稿データを、FTPに保存します。
ドライバのインストールは不要です。
この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたFTPサーバー上に保存する機能です。
スキャン to FTP を使用するには、送信先の情報を操作パネルから手動で入力するか、ウェブブラウザであらかじめ登録したFTPサーバー（10件）を選択します。操作パネルから入力する方法はP.62、ウェブブラウザで登録する方法はP.74を参照してください。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバーに送る

スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「スキャン to FTP」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
スキャン to FTP

OK を押す

▲または▼を押して送信したい FTP サーバーを選択する

送信先の FTP サーバーを登録する方法は、P.74を参照してください。

OK を押す

スタート を押す

ディスプレイに「接続中」と表示される

FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

FTP サーバーは登録されているが、その登録内容の中でブランク（未設定）になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示にならって設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、転送先フォルダが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

スキャンした原稿を手動でFTPサーバーに送る

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「ｽｷｬﾝ to FTP」を選択する

▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
ｽｷｬﾝ to FTP

OK を押す

▲または▼を押して、「手動設定」を選択する

OK を押す

ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーのドメイン名を入力する

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

OK を押す

ダイヤルボタンを押して転送先のフォルダ名を入力する

例：brother/abc/

10

OK を押す

▲または▼を押して、[ユーザー名　入力] か [設定変更] を選択する

- [ユーザー名　入力] を選択した場合は、手順13に進みます。
- 解像度は下記の中から選択できます。
  - カラー　150　dpi
  - カラー　300　dpi
  - カラー　600　dpi
  - グレー　100　dpi
  - グレー　200　dpi
  - グレー　300　dpi
  - ﾓﾉｸﾛ　200　dpi
  - ﾓﾉｸﾛ　200x100　dpi

12

▲または▼を押して、画像の形式を選択する

- カラーまたはグレーを選択した場合は、[PDF] か [JPEG] を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、[PDF] か [TIFF] を選択できます。

13 ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーにログインするためのユーザ名を入力する

14 OK を押す

15 ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力する

16 OK を押す

17

を押す

18 ディスプレイに「接続中」と表示される

FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

タイムアウトまたは他のエラーが発生した場合は、手順 1 からやり直してください。FTP サーバーに登録された本製品のユーザ名、パスワードに誤りがある場合、本製品の液晶ディスプレイに「認証ｴﾗｰ」と表示されます。手順 1 からやり直してください。

アプリケーションから直接スキャンする

コンピュータ側で、TWAINまたはWIA対応のアプリケーションを操作してスキャンします。
Windows Vista®をお使いの場合は、付属の「Windows® フォト ギャラリー」や「Windows® FAXとスキャン」も利用できます。

TWAINドライバを使ってスキャンする

本製品のドライバはTWAINに対応しており、TWAIN対応のアプリケーション（「Presto!® PageManager®」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。ここでは、「Presto!® PageManager®」でスキャンする場合について説明します。TWAIN対応の他のアプリケーションからスキャンするときも、手順は同様です。

あらかじめPresto!® PageManager®を起動させ、［ファイル］メニューの［ソースの選択］で、接続している本製品のモデル名（Windows® XP/Windows Vista® の場合：「TW-Brother MFC-XXXX」/「TW-Brother DCP-XXXX」または「TW-Brother MFC-XXXX LAN」、その他の場合：「Brother MFC-XXXX」/「Brother DCP-XXXX」または「Brother MFC-XXXX LAN」）を選んでおきます。また、［ツール］メニューの［スキャンの設定］で、［TWAINユーザーインターフェースを無効にする］のチェックを外してください。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

Presto!® PageManager® 画面から をクリックする

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。詳しくはP.65を参照してください。

必要に応じて TWAIN ダイアログボックスで以下の項目を設定する

- 解像度
- 色数
- 明るさ　など

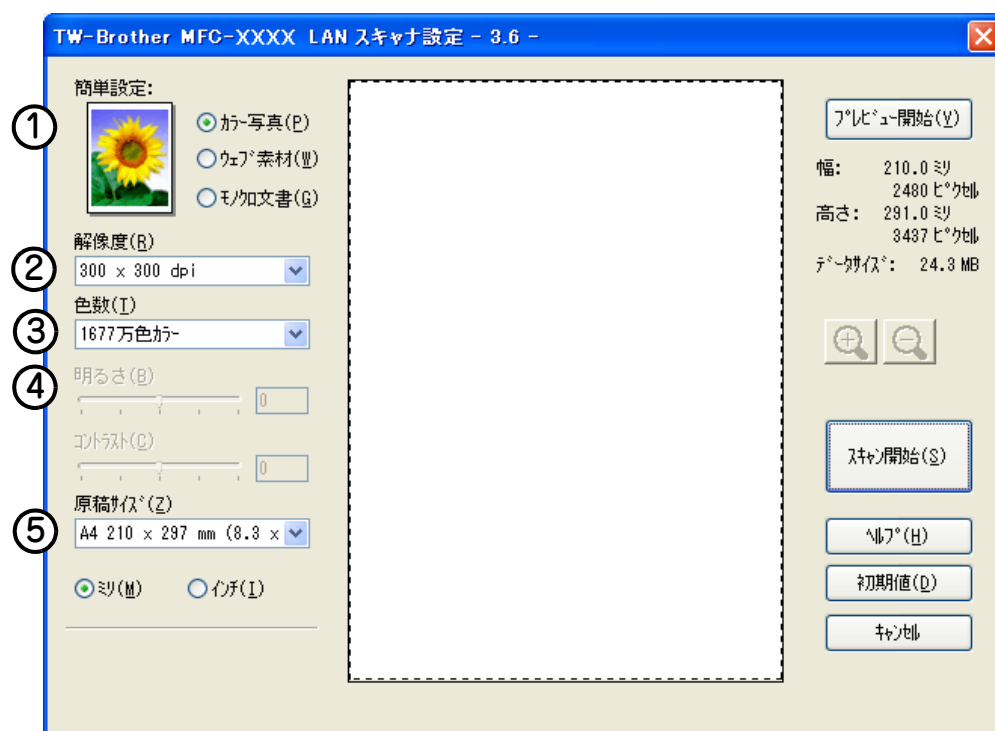
［スキャン開始］ボタンをクリックする

スキャンが終了すると、Presto!® PageManager® の表示エリアに、スキャンした原稿がサムネールで表示されます。

補足

操作の詳細については、Presto!® PageManager®のヘルプをご覧ください。

TWAINダイアログボックスでの設定

TWAINダイアログボックスで設定できる項目について、以下に説明します。

① 簡単設定（イメージタイプ）

カラー写真：写真の場合に選択します。（解像度：300×300dpi　色数：1677万色カラー）
ウェブ素材：ホームページに使用する場合に選択します。（解像度：100×100dpi　色数：1677万色カラー）
モノクロ文書：文書の場合に選択します。（解像度：200×200dpi　色数：白黒）

② 解像度

プルダウンメニューからスキャンする解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間が増えますが、スキャンされた画像の質は向上します。
選択できる解像度と指定可能な色数の対応は以下のとおりです。

解像度	白黒／グレー／256階調グレー	256色カラー	1677万色カラー
100×100dpi	○	○	○
150×150dpi	○	○	○
200×200dpi	○	○	○
300×300dpi	○	○	○
400×400dpi	○	○	○
600×600dpi	○	○	○
1200×1200dpi	○	×	○
2400×2400dpi	○	×	○
4800×4800dpi	○	×	○
9600×9600dpi	○	×	○
19200×19200dpi	○	×	○

③ 色数

白黒

テキストや線画の場合に設定します。

グレースケール

写真画像の場合にグレー、または256階調グレーに設定します。

カラー

256色カラー、1677万色カラーのいずれかを選択します。

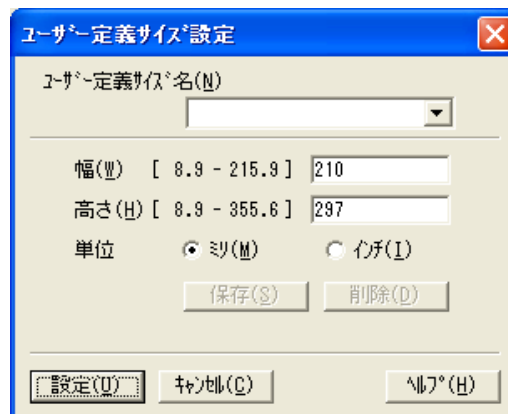
④ 明るさ／コントラスト（白黒／グレー／ 256 階調グレーのみ）

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑤ 原稿サイズ

以下のいずれかのサイズを設定します。

- A4　210×297mm
- B5（JIS）　182×257mm
- レター　215.9×279.4mm（8.5×11 インチ）
- リーガル　215.9×355.6mm（8.5×14 インチ）
- A5　148×210mm
- エクゼクティブ　184.1×266.7mm（7 1/4 ×10 1/2 インチ）
- 名刺　60×90mm
- ポストカード　10×15cm（4×6 インチ）
- インデックスカード　127×203.2mm（5×8 インチ）
- L判　89×127mm
- 2L判　13×18cm
- ハガキ　100×148mm
- 往復ハガキ　148×200mm
- ユーザー定義サイズ...

［ユーザー定義サイズ...］を選択した場合は、右の画面が表示されます。［幅］と［高さ］を入力します。

補足

- 1677万色カラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、256色カラーを使用した場合の3倍ほどになります。
- ユーザー定義サイズを選択した後でも、スキャンの範囲をさらに調整できます。左マウスボタンを使って、スキャン範囲の点線をドラッグします。この作業はスキャンするときに画像を切り取るために必要です。
- 名刺をスキャンするには、名刺サイズ（60×90mm）の設定を選択し、原稿台ガラスにセットしてください。
- ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合は、濃度・モード・画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。
- 必要以上に解像度を高く設定すると、データ容量も取り込み時間も増大します。適切な解像度を選択してください。
- ユーザー定義サイズは、MFC-7340/MFC-7840W/DCP-7040では8.9×8.9mmから215.9×355.6mmまで、DCP-7030では8.9×8.9mmから215.9×297.0mmまで調整できます。

プレビューで画像を調整する

プレビューは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、確認できる機能です。画像のサムネイルがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

［プレビュー開始］ボタンをクリックする

原稿がコンピュータにスキャンされると TWAIN ダイアログボックスのスキャンエリアに表示されます。

ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合は、［プレビュー開始］ボタンをクリックした時点で原稿を排出してしまうため、再度セットしてから［スキャン開始］ボタンをクリックする必要があります。

スキャンされた原稿の一部分を切り取るには、左マウスボタンを使ってスキャンエリアの点線の側面か端をドラッグする

点線を調整して スキャンしたい部分を囲みます。

必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさの設定を調整する

［スキャン開始］ボタンをクリックする

選択された範囲だけが Presto!® PageManager® 画面に表示されます。

Presto!® PageManager® 画面上で画像を調整する

補足

［プレビュー開始］ボタンを使用して画像をプレビューし、画像の不要部分を切り取ります。プレビューのとおりでよければ、スキャナ画面から［スキャン開始］ボタンをクリックして画像をスキャンします。

スキャン範囲

WIAドライバを使ってスキャンする（Windows® XP/Windows Vista®のみ）

本製品のドライバはWIAに対応しており、WIA対応のアプリケーション（「Presto!® PageManager®」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。
原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、以下の手順で操作します。ここでは、「Presto!® PageManager®」でスキャンする場合について説明します。

あらかじめPresto!® PageManager®を起動させ、［ファイル］メニューの［ソースの選択］で、接続している本製品のモデル名（「WIA-Brother MFC-XXXX」/「WIA-Brother DCP-XXXX」または「WIA-Brother MFC-XXXX LAN」）を選んでおきます。また、［ツール］メニューの［スキャンの設定］で、［TWAINユーザーインターフェースを無効にする］のチェックを外してください。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

Presto!® PageManager® 画面から をクリックする

WIAダイアログボックスが表示されます。詳しくはP.69を参照してください。

給紙方法を選択する

［フラットベット］を選択した後、「プレビュー」機能を利用してスキャンする範囲を調整することができます。

必要に応じてWIAダイアログボックスで以下の項目を設定する

- 解像度
- 明るさ
- 画像の種類　など

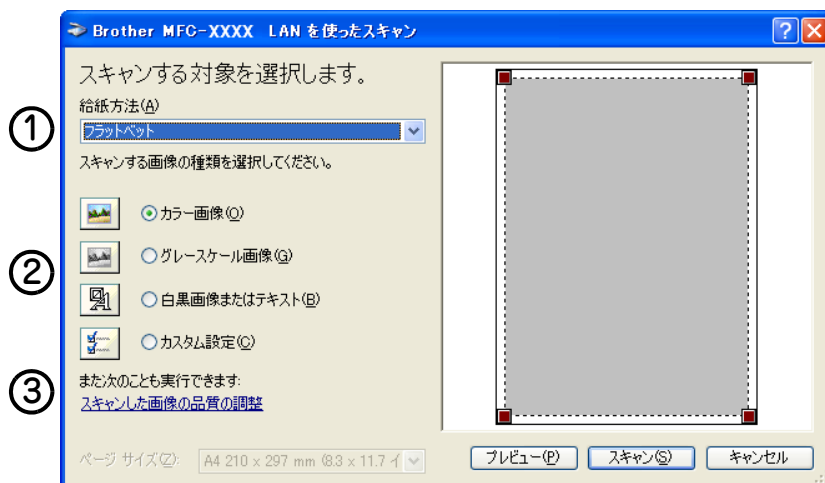
［スキャン］ボタンをクリックする

スキャンが終了したら［キャンセル］ボタンをクリックしてPresto!® PageManager®画面に戻ります。

補足

操作の詳細については、Presto!® PageManager®のヘルプをご覧ください。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2/3)
付録

WIAダイアログボックスでの設定

① 給紙方法

［フラットベッド］は原稿台ガラスからスキャンするとき、［ドキュメントフィーダ］はADF（自動原稿送り装置）からスキャンするときに選択します。

② 画像の種類

スキャンする画像の種類を選択します。

③ スキャンした原稿の品質の調整

ここをクリックすると、［詳細プロパティ］ウィンドウが表示されます。

④ 明るさ / コントラスト

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑤ 解像度

解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間は増えますが、画質は向上します。
［100］［150］［200］［300］［400］［600］［1200］の中から選択します。

⑥ 画像の種類

［カラー画像］［グレースケール画像］［白黒画像またはテキスト］の中から選択します。

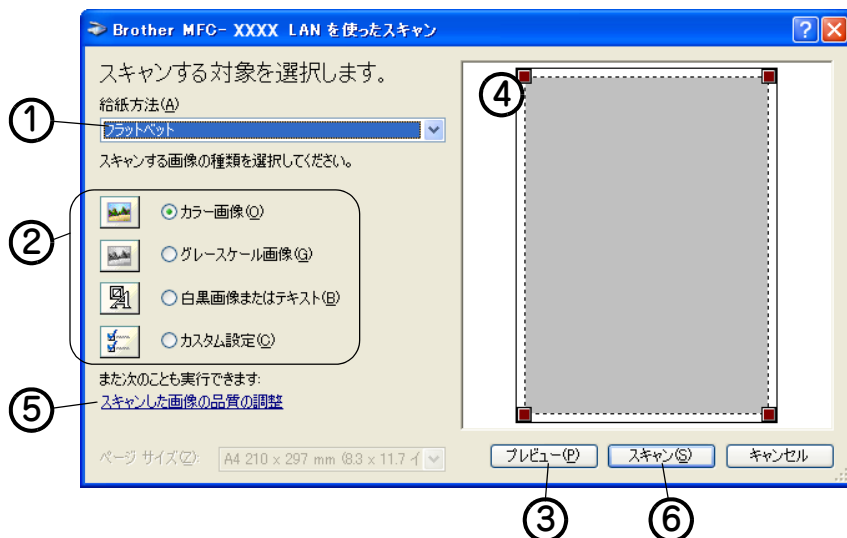
補足

●Windows® XP/Windows Vista®で、2400/4800/9600/19200dpiの解像度を有効にするときは、「スキャナユーティリティ」を使って設定を変更します。（元に戻すこともできます。）「スキャナユーティリティ」は以下の方法で起動します。

① ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］ー［Brother］ー［（モデル名）］ー［スキャナ設定］ー［スキャナユーティリティ］の順に選択します。
「スキャナユーティリティ」が起動します。

※アプリケーションによっては、1200dpi以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

● プレビューで画像を調整する

プレビューは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、確認できる機能です。画像のサムネイルがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。

原稿の表側を下にして、原稿台ガラスに置く

［給紙方法］のプルダウンメニューから［フラットベッド］（①）を選択する

画像の種類を選択する（②）

［プレビュー］ボタン（③）をクリックする

原稿全体がスキャンされ、スキャンエリア（④）に表示されます。

（④）のウィンドウにてマウスの左ボタンを押しながらマウスをドラッグし、取り込みたい部分を指定する

詳細設定が必要な場合は、［スキャンした画像品質の調整］（⑤）をクリックする

詳細プロパティ画面が表示され、「明るさ」「コントラスト」「解像度」「画像の種類」が選択できます。設定が終了したら［OK］を押します。詳細プロパティ画面についてはP.69の③を参照してください。

［スキャン］ボタン（⑥）を押す

選択された部分だけが取り込まれ、Presto!® PageManager® 画面（あるいはアプリケーションソフトの画面）に表示されます。

Windows®フォト ギャラリー、Windows® FAXとスキャンを使用する場合（Windows Vista®のみ）

Windows Vista®をお使いの場合、付属の「Windows®フォト ギャラリー」や「Windows® FAX とスキャン」で、画像を直接スキャンできます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

スキャナとして、本製品を選ぶ

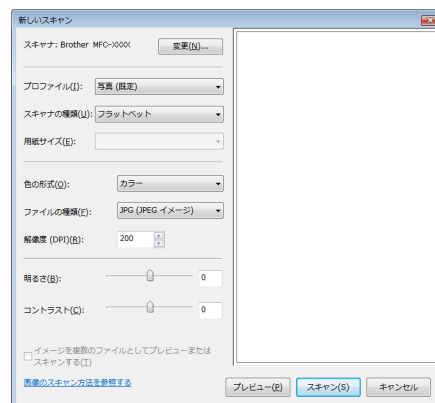
● Windows フォト ギャラリーの場合

［ファイル］メニューから［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選択し、接続している本製品のモデル名（Brother MFC-XXXXまたはBrother DCP-XXXX）を選ぶ

● Windows FAX とスキャンの場合

［ファイル］メニューから［新規作成］-［スキャン］を選択し、接続している本製品のモデル名（Brother MFC-XXXXまたはBrother DCP-XXXX）を選ぶ

［読み込み］をクリックする

［新しいスキャン］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャナの種類］で「フィーダ」（ADF）または「フラットベッド」（原稿台ガラス）を選択する

- 「フィーダ」を選んだ場合は、手順7に進んでください。
- 「フラットベッド」を選んだ場合は、いったん画像を確認する（プレスキャン）ことができます。手順5に進んでください。プレスキャンなしでそのままスキャンするときは、手順7に進んでください。

［プレビュー］をクリックする

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

スキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

スキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

WIA ダイアログボックスの設定については、P.69 を参照してください。（Windows FAX とスキャンを使用のとき）

［スキャン］をクリックする

画像がスキャンされ、起動している「Windows フォト ギャラリー」または「Windows FAX とスキャン」に画像が表示されます。

画像を保存する

操作の詳細については、「Windows フォト ギャラリー」または「Windows FAX とスキャン」のヘルプを参照してください。

Windows®編

3章

ソフトウェアを使うための設定（MFC-7840Wのみ）

操作パネルからの設定

本製品のスキャン機能のうち、スキャン to FTPでは、解像度とファイル形式の初期設定を以下の手順で変更できます。

スキャン to FTPの初期設定を変更する

メニュー、5 JKL、3 DEF の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

▲または▼を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。
- カラー　150　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

OK を押す

▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラー /グレーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択できます。

OK を押す

を押す

FTPの保存先を登録する

本製品でスキャンした原稿をFTPサーバーに保存する際の送信先を、あらかじめFTPプロファイルとして10件まで登録しておくことができます。

補足

各項目には、以下の文字数が入力できます。
- プロファイル名..15字以内
- ホストアドレス（ドメイン名）.............60字以内
- ユーザ名...32字以内
- パスワード...32字以内
- 送信先フォルダ...60字以内

ウェブブラウザのアドレス入力欄に、http://ip address（ip address はご使用になる本製品の IP アドレス）を入力する

- パスワードを入力する必要があります（初期設定は“access”です)。
- IPアドレスはLAN設定内容リストで確認することができます。LAN設定内容リストの印刷方法については ユーザーズガイド（印刷版）「4章 レポート・リスト　LAN設定内容リストを印刷する（MFC-7840Wのみ)」を参照してください。

「スキャン to FTP」をクリックする

登録したい「プロファイル」をクリックする

FTP サーバーのプロファイル名を入力する

入力したプロファイル名が本製品の液晶ディスプレイに表示されます。

「FTP サーバアドレス」に FTP サーバーのドメイン名を入力する

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

FTP サーバーにログインするためのユーザ名を入力する

FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力する

スキャンした原稿の転送先フォルダを入力する

転送先フォルダのパスを入力します。（例：brother/abc/）

プルダウンリストから、画像を保存するファイル名を選択する

ファイル名は、あらかじめ用意されている 7 種類か、オリジナル 2 種類から選びます。オリジナルファイル名の登録方法は、次の「オリジナルファイル名を登録する」を参照してください。
スキャンした原稿のファイル名には、選択したファイル名＋スキャナのカウンタ（6 文字）＋拡張子が付きます（例：Mitsumori098765.pdf）。

10 プルダウンリストから解像度とカラー / グレー / モノクロを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　150　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

11 プルダウンリストから画像の形式を選択する

- カラー /グレーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択できます。

12 パッシブモードを設定する

お使いの FTP サーバーやファイアウォールの設定によって、ON または OFF に設定します。
お買い上げ時は ON に設定されています。
ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありません。

13 ポート番号を設定する

FTP サーバーにアクセスするためのポート番号を設定します。
お買い上げ時は 21 番に設定されています。
ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありません。

OK をクリックする

設定した内容で、FTP プロファイルが登録されます。

オリジナルファイル名を登録する

ファイル名は、用意されている7種類のほかに好みのものを2種類登録できます。

スキャン to FTP の画面で、［オリジナルファイル名登録］をクリックする

オリジナルファイル名の入力欄に登録したいファイル名を入力し、［OK］をクリックする

- ファイル名は半角英数字で15文字まで入力できます。

4章

リモートセットアップ（MFC-7340/MFC-7840Wのみ）

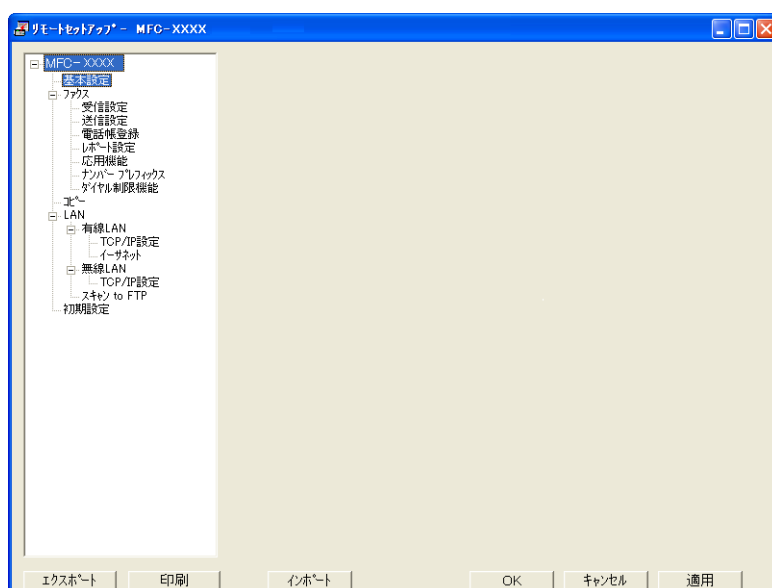
リモートセットアップについて

通常、本製品に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションボタンとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本製品に対する機能設定をコンピュータで簡単に行うことができます。

補足

Windows® XP/Windows Vista®で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、リモートセットアップが使用できないときは、ポート137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［（モデル名）］－［リモートセットアップ］の順に選択します。

リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧 のメインメニューに対応しています。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）「7章 付録　機能一覧」を参照してください。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。
起動した直後は、本製品に設定されている内容が自動的にコンピュータにダウンロードされ、画面上に表示されます。

補足

- この章では、MFC-7840Wの画面を例に説明しています。
- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのコンピュータに Brother ドライバ & ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- PCファクス受信ソフトウェアが起動しているとリモートセットアップは使用できません。
- ウイルスバスター ™ などのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。

① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② 印刷

「電話帳登録」を表示しているときには、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときには、「設定内容リスト」を印刷します。（ユーザーズガイド（印刷版）「4章 レポート・リスト　設定内容リストを印刷する」と同じリストを印刷します）ただし、本製品に送信されるまで印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

③ インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックします。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

補足

エクスポート、インポートの機能を使うと、本製品の設定内容や登録した電話帳を複数の本製品で共有できます。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

● MFC-7340

分類	中分類	項目	設定の可否
基本設定	モード タイマー	―	○
	記録紙タイプ	―	○
	記録紙サイズ	―	○
	音量	着信音量	○
		ボタン確認音量	○
		スピーカー音量	○
	省エネモード	トナー節約モード	○
		スリープモード	○
	画面のコントラスト	―	×
	セキュリティ設定ロック	―	×
ファクス	受信設定	呼出回数	○
		再呼出回数	○
		親切受信	○
		リモート受信	○
		自動縮小	○
		印刷濃度	○
		ポーリング受信	×
		受信スタンプ	○
	送信設定	原稿濃度	×
		ファクス画質	○
		タイマー送信	×
		とりまとめ送信	○
		リアルタイム送信	○
		ポーリング送信	×
		送付書	○
		送付書コメント	○
		海外送信モード	×
	電話帳登録	電話帳／ワンタッチ	○
		電話帳／短縮	○
		電話帳／グループ	○
	レポート設定	送信レポート	○
		通信管理間隔	○
	応用機能	転送／メモリー 受信	○
		暗証番号	○
		ファクス出力	×
	ナンバー プレフィックス	―	○
	ダイヤル制限機能	直接入力	○
		ワンタッチダイヤル	○
		短縮ダイヤル	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	通信待ち確認	－	×
	安心通信モード	－	×
コピー	コピー画質	－	○
	コントラスト	－	○
製品情報	シリアルNo	－	×
	印刷枚数表示	－	×
	ドラム寿命	－	×
初期設定	受信モード	－	○
	時計セット	－	○
	発信元登録	－	○
	回線種別設定	－	○
	ダイヤルトーン設定	－	×
	特別回線対応	－	×
	ナンバーディスプレイ	－	×
	個人情報消去	－	×
	機能設定リセット	－	×
	表示言語	－	×

● MFC-7840W

分類	中分類	項目	設定の可否
基本設定	モード　タイマー	－	○
	記録紙タイプ	－	○
	記録紙サイズ	－	○
	音量	着信音量	○
		ボタン確認音量	○
		スピーカー音量	○
	省エネモード	トナー節約モード	○
		スリープモード	○
	画面のコントラスト	－	×
	セキュリティ	セキュリティ設定ロック	×
		セキュリティ機能ロック	×
ファクス	受信設定	呼出回数	○
		再呼出回数	○
		親切受信	○
		リモート受信	○
		自動縮小	○
		印刷濃度	○
		ポーリング受信	×
		受信スタンプ	○
	送信設定	原稿濃度	×
		ファクス画質	○
		タイマー送信	×
		とりまとめ送信	○

分類	中分類	項目			設定の可否
ファクス	送信設定	リアルタイム送信			○
		ポーリング送信			×
		送付書			○
		送付書コメント			○
		海外送信モード			×
	電話帳登録	電話帳／ワンタッチ			○
		電話帳／短縮			○
		電話帳／グループ			○
	レポート設定	送信レポート			○
		通信管理間隔			○
	応用機能	転送／メモリー 受信			○
		暗証番号			○
		ファクス出力			×
	ナンバー　プレフィックス	−			○
	ダイヤル制限機能	直接入力			○
		ワンタッチダイヤル			○
		短縮ダイヤル			○
	通信待ち確認	−			×
	安心通信モード	−			×
コピー	コピー画質	−			○
	コントラスト	−			○
プリンタ	プリンタ　オプション	フォント　リスト			×
		プリンタ設定			×
		テスト　プリント			×
	プリンタ　リセット	−			×
LAN	有線LAN	TCP／IP設定	IP取得方法		○
			IP　アドレス		○
			サブネット　マスク		○
			ゲートウェイ		○
			ノード名		○
			WINS設定		○
			WINS　サーバ	プライマリ	○
				セカンダリ	○
			DNS　サーバ	プライマリ	○
				セカンダリ	○
			APIPA		○
			IPv6		○
		イーサネット	−		○
		初期設定に戻す	−		×
		有線LAN有効	−		×
	無線LAN	TCP／IP設定	IP取得方法		○
			IPアドレス		○
			サブネット　マスク		○

分類	中分類	項目			設定の可否
LAN	無線LAN	TCP/IP設定	ゲートウェイ		○
			ノード名		○
			WINS設定		○
			WINS サーバ	プライマリ	○
				セカンダリ	○
			DNS サーバ	プライマリ	○
				セカンダリ	○
			APIPA		○
			IPv6		○
		無線接続ウィザード	ー		×
		SES/WPS/AOSS	ー		×
		WPS(PIN方式)	ー		×
		無線状態	接続状態		×
			電波状態		×
			SSID		×
			通信モード		×
		初期設定に戻す	ー		×
		無線LAN有効	ー		×
	スキャン to FTP	ー			○
	LAN設定リセット	ー			×
製品情報	シリアル No.	ー			×
	印刷枚数表示	ー			×
	ドラム寿命	ー			×
初期設定	受信モード	ー			○
	時計セット	ー			○
	発信元登録	ー			○
	回線種別設定	ー			○
	ダイヤルトーン設定	ー			×
	特別回線対応	ー			×
	ナンバーディスプレイ	ー			×
	個人情報消去	ー			×
	機能設定リセット	ー			×
	表示言語	ー			×

補足

各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド（印刷版）「7章 付録　機能一覧」を参照してください。

電話帳登録をする

リモートセットアップの操作の例として、電話帳登録をする場合について説明します。
画面の左側の機能分類から「電話帳登録」をクリックすると、次の画面が表示されます。

この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。

- ワンタッチダイヤル：最大8件（1～8）
- 短縮ダイヤル：最大200件（001～200）

電話番号は20桁まで登録できます（カッコは使用できません）。
また、相手先名称は10桁（漢字入力の場合）まで入力できます。

● 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号、ファクス番号と名称を、3桁の短縮番号（最大200件）に登録します。

左側から「電話帳登録」を選ぶ

登録する短縮番号の行にある「ファクス / 電話番号」をダブルクリックし、電話番号、ファクス番号を入力する

種別を選ぶ

「ヨミガナ」をダブルクリックし、ヨミガナを入力する

「相手先名称」をダブルクリックし、相手先の名前を入力する

漢字で登録 / 修正する場合は、リモートセットアップまたはウェブブラウザで行ってください。

グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」を ON にします。

[OK] をクリックする

- 設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。8グループまで登録できます。

左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1 ～ 8」から選びます。
例）ここでは「グループ 2」を選びます。

「相手先名称」にグループ名を入力する

グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」を ON にします。

[OK] をクリックする

• 設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳を複数の本製品で共有する

登録した電話帳を、複数の本製品で共有することができます。これには、電話帳のエクスポートとインポートを利用します。

共有したい電話帳がある本製品にコンピュータを接続し、リモートセットアップを起動する

左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

[エクスポート] をクリックする

[電話帳のみ] が選択されていることを確認し、[開始] をクリックする

その他の設定もすべて複写したい場合は、[全設定（電話帳含む）] を選択します、

5

ファイル名を入力し、[保存] をクリックする

同じコンピュータを、電話帳を複写したい本製品に接続し、リモートセットアップを起動する

[インポート] をクリックする

[電話帳のみ] が選択されていることを確認し、[開始] をクリックする

その他の設定もすべて複写したい場合は、[全設定（電話帳含む）] を選択します、

複写したい電話帳のファイルを選択し、［開く］をクリックする

電話帳データがインポートされ、リモートセットアップの起動画面が表示されます。
「電話帳登録」には、青いマークが表示されています。

［適用］または［OK］をクリックする

電話帳データが複写先の本製品の電話帳データに上書きされ、新しい電話帳に置き換わります。数分かかることがあります。

Windows®編

5章

PCファクス（MFC-7340/MFC-7840Wのみ）

PCファクスを使用する前に

PCファクスを利用すると、コンピュータ上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送受信することができます。また、送付書を添付して送付することもできます。
あらかじめ、PCファクスのアドレス帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先として設定できます。P.94を参照してください。
ファクススタイル画面とシンプルスタイル画面のどちらかを選択することができます。P.89を参照してください。

補足

- ●DCP-7030/DCP-7040では、PCファクス機能は使用できません。
- ●送信を行う前に個人情報、アドレス帳を設定しておくと便利です。
- ●アドミニストレータ（Administrator）権限で使用してください。
- ●Windows® XP/Windows Vista®で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、PC ファクスが使用できないときは、ポート 52926 と 137 を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

個人情報を登録する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を登録します。
登録は、［Brother PCファクス設定］ダイアログボックスの［個人情報］タブで行います。

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］ー［Brother］ー［(モデル名)］ー［PC-FAX 送信］ー［PC-FAX 設定］の順に選択する

個人情報を入力する

［OK］をクリックする

個人情報が保存されます。

送信の設定をする

ファクス送信に関する設定を行います。
設定は、［Brother PC-FAX設定］ダイアログボックスの［送信］タブで行います。

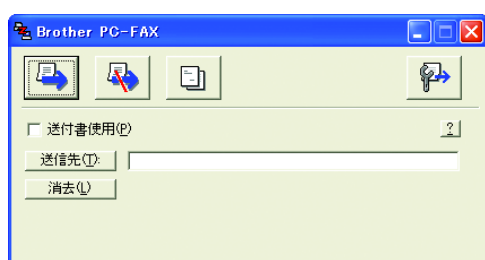
① ダイヤル設定

外線への接続に必要な番号を入力します。この番号は、PBX等の内線接続で必要になる場合があります。
電話機を単独で使用している回線へ接続する場合、入力する必要はありません。

② ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合は、このボックスをチェックします。

③ 送信操作画面

［シンプルスタイル］か［ファクススタイル］のどちらかを選択できます。

<シンプルスタイル>

<ファクススタイル>

④ ネットワーク PC-FAX

PCファクス機能を使ってメールアドレスにファクス送信するときは、［使用する］をチェックしておく必要があります。
（送信先がファクス番号の場合、チェックは必要ありません）

アドレス帳を設定する

相手先のファクス番号をPCファクスアドレス帳に登録しておくと、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

補足

「Brother PC-FAXアドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。P.94を参照してください。

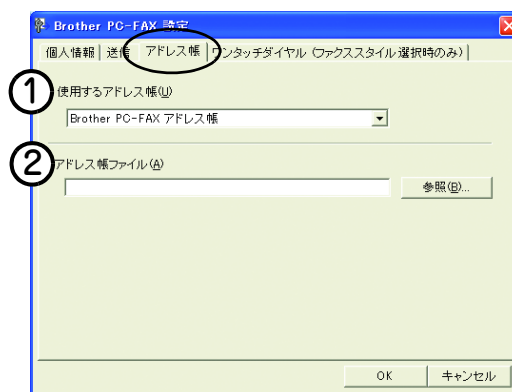
設定は、［Brother PC-FAX設定］ダイアログボックスの［アドレス帳］タブで行います。

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］の順に選択する

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

［アドレス帳］タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をする

①使用するアドレス帳
送信先を設定したり、ワンタッチダイヤルの設定をするときに使用するアドレス帳を選びます。
通常は「Brother PC-FAX アドレス帳」を選びますが、Windows メールや Outlook、Outlook Express のアドレス帳を利用する場合は、「Windows メールアドレス帳」（Windows Vista®）、「Outlook Express アドレス帳」（Windows® 2000/XP）、または「Outlook アドレス帳」を選びます。

②アドレス帳ファイル
ファイルのパスと名前を入力するか、［参照］をクリックしてファイルを選びます。

補足

- Microsoft Outlook 2000/2002/2003/2007に対応しています。
- Outlook のアドレス帳を使用するには、Outlook が通常使用するメールソフトに設定されている必要があります。

［OK］をクリックする

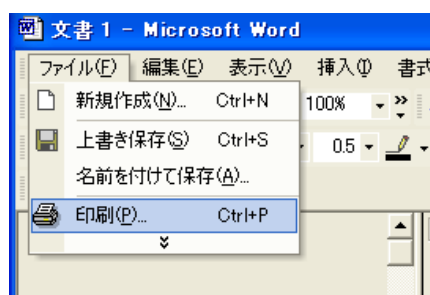
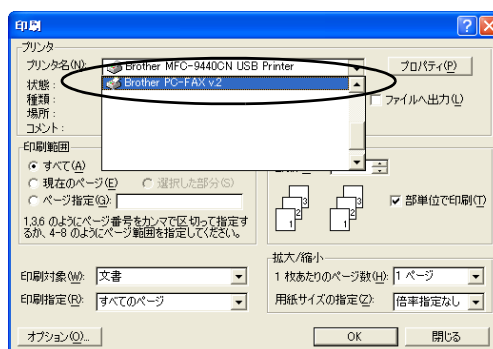
PC ファクスで使用するアドレス帳が設定されます。

コンピュータからファクスを送る［PCファクス送信］

コンピュータ上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。あらかじめ送信の設定P.89で選んだ「ファクススタイル」または「シンプルスタイル」のどちらかの画面で送信します。

ファクススタイルで送る

コンピュータ上のアプリケーションでファイルを作成する

［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

プリンタ名の▼から［Brother PC-FAX v.2］を選択して、［OK］をクリックする

以下のいずれかの方法でファクス番号を入力する

- ダイヤルパッド（①）をクリックして番号を入力する。
- 10個のワンタッチダイヤルボタン（②）のいずれかをクリックする。
- ［アドレス帳］ボタン（③）をクリックし、アドレス帳から送付先を選択する。
- WindowsメールやOutlook、Outlook Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。P.90を参照してください。

［送信］をクリックする

ファクス送信が開始されます。
送るのをやめるには、［中止］をクリックします。

補足

●ファクススタイル画面を使用してファクス送信する場合は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで「ファクススタイル」を選択しておく必要があります。

●ワンタッチダイヤルボタンやアドレス帳を使うには、あらかじめPCファクスアドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。P.90 を参照してください。

●ファクススタイル画面のボタンについて以下に説明します。

①送付書使用
ファクスに送付書とコメントを付けて送信する場合に、クリックして黄色に点灯させます。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。

②送付書の作成
送付書の内容を入力したり変更する場合にクリックします。P.104 を参照してください。

③消去
ファクス番号を間違って入力したときにクリックします。

④再ダイヤル
ファクスを再送する場合にクリックします。［再ダイヤル］ボタンを押すたびに、最新のものからさかのぼって5件表示されます。再送したいファクス番号が表示されたら、［送信］ボタンをクリックします。

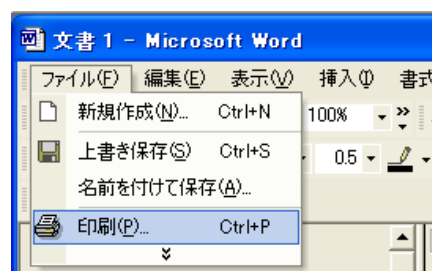
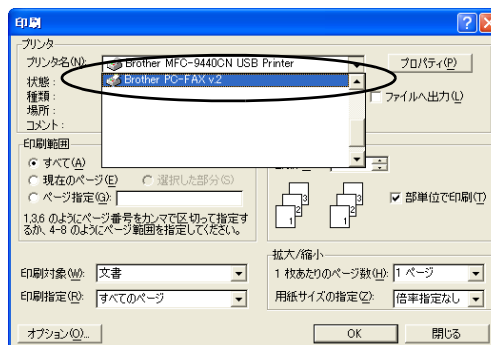
⑤中止
ファクスの送信を中止する場合にクリックします。

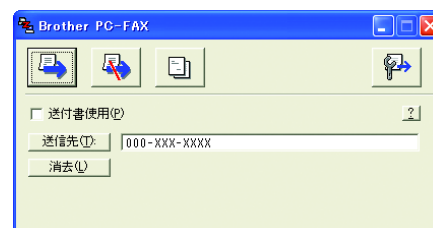
シンプルスタイルで送る

■「シンプルスタイル」の送信操作画面では、ワンタッチダイヤルは使用できません。

コンピュータ上のアプリケーションでファイルを作成する

［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2/3)
付録

プリンタ名の▼から［Brother PC-FAX v.2］を選択して、［OK］をクリックする

［送信先］に、相手のファクス番号を入力する

- 相手のファクス番号は、［送信先］ボタンをクリックしてアドレス帳から選択することもできます。
- WindowsメールやOutlook、Outlook Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。P.90 を参照してください。

送付書とコメントを付けてファクスを送信する場合は、［送付書使用］チェックボックスをチェックする

送付書の作成についてはP.104 を参照してください。

をクリックする

ファクス送信が開始されます。

補足

- シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する場合は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで「シンプルスタイル」を選択しておく必要があります。
- アドレス帳を使うには、あらかじめ PC ファクスアドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。P.90 を参照してください。
- ファクス番号を間違って入力したときには、［消去］ボタンをクリックします。
- をクリックすると、送付書の内容を入力したり変更することができます。P.104 を参照してください。
- をクリックすると、ファクスの送信を中止します。

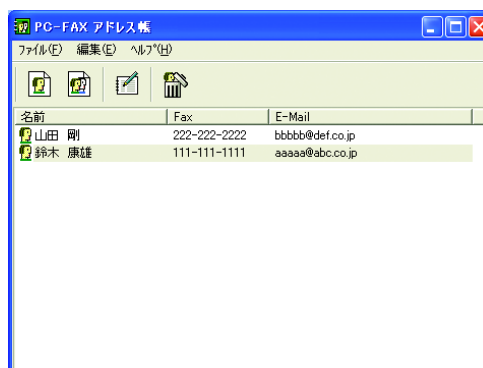
PCファクスアドレス帳を利用する

PCファクスを使うときは、PCファクスアドレス帳に相手先のファクス番号を登録しておくと送信先を簡単に指定できます。PCファクスアドレス帳データは、CSV形式などで抽出（エクスポート）、読み込み（インポート）できるので、他のアプリケーションで使っているアドレス帳データも活用できます。また、ファクスを送るときは、送付書を添付することもできます。

PCファクスアドレス帳に相手先を登録する

相手先の登録は、［PC-FAXアドレス帳］ダイアログボックスで行います。

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］ ー ［Brother］ ー ［（モデル名）］ ー ［PC-FAX 送信］ ー ［PC-FAX アドレス帳］の順に選択する

右の画面が表示されます。

をクリックする

右の画面が表示されます。

相手先の情報を入力する

［名前］の入力は必須です。

［決定］をクリックする

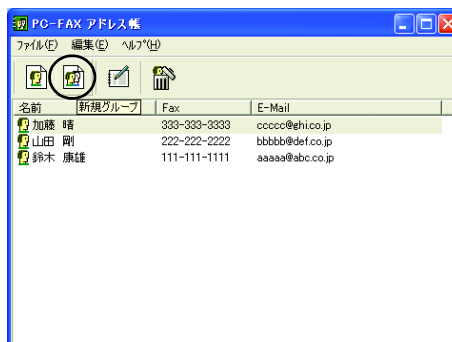
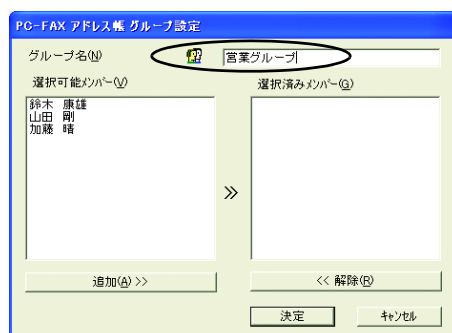
相手先の情報が保存されます。

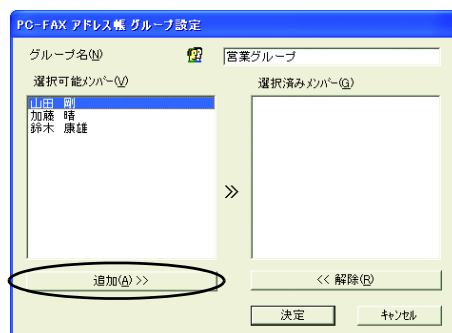
補足

- 登録情報を追加、編集、削除する場合も、［PC-FAXアドレス帳］ダイアログボックスで行います。
- アドレス帳には3000件までのデータを登録することが可能です。

グループダイヤルに相手先を登録する

同一の原稿を複数の相手に繰り返し送信する場合は、複数の相手先をグループにまとめて登録しておくと便利です。
一度の操作で、グループに登録された複数の相手先にファクスを送ることができます。

[PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、 をクリックする

［グループ名］にグループ名を入力する

［選択可能メンバー］ボックスで、グループに追加するメンバーを選択してから、［追加］をクリックする

グループに登録したいメンバーについてこの操作を繰り返します。
追加したメンバーは、［選択済みメンバー］ボックスに一覧表示されます。

メンバーの追加後、［決定］をクリックする

1つのグループダイヤルに最大50件までメンバーを登録できます。また、グループダイヤルは最大256個まで登録できます。

アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する

[PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、編集する相手先またはグループを選択する

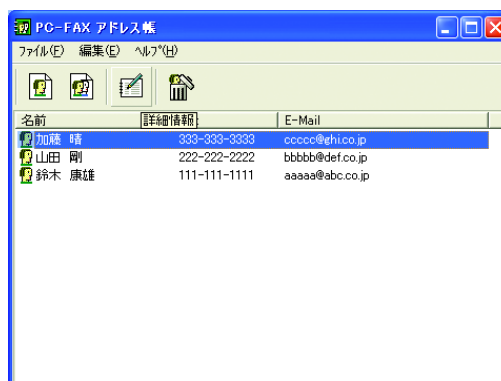
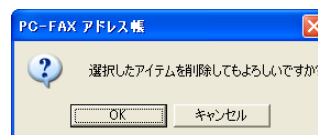
をクリックする

相手先またはグループ情報を編集する

[決定] をクリックする

変更した相手先またはグループ情報が保存されます。

アドレス帳の相手先またはグループを削除する

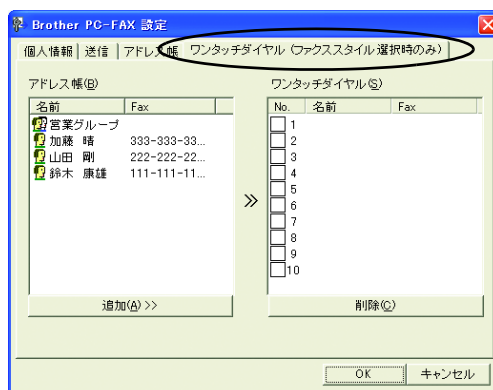
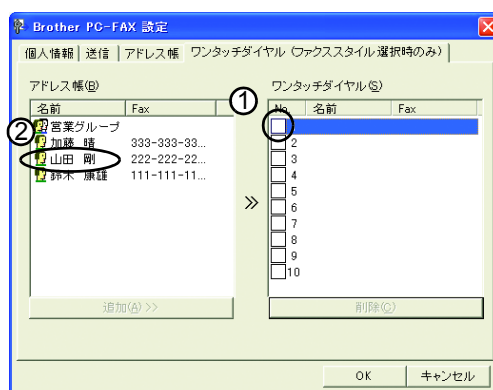
［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、削除する相手先またはグループを選択する

をクリックする

［OK］をクリックする

ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

メンバーまたはグループを10個のワンタッチダイヤルボタンに登録できます。
登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタン（1から10のいずれか）をクリックするだけで、ワンタッチで送信先を指定することができます。

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］の順に選択する

［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［ワンタッチダイヤル］タブをクリックする

［ワンタッチダイヤル］ボックスで、登録先のワンタッチダイヤルの番号をクリックする（①）続けて、［アドレス帳］ボックスから、この番号に登録するメンバーまたはグループをクリックする（②）

［追加］をクリックする

登録したいワンタッチダイヤルについて、手順3、4の操作を繰り返します。

［OK］をクリックする

ワンタッチダイヤルの設定がアドレス帳に保存されます。

登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する

［ワンタッチダイヤル］ボックスから、削除する相手先またはグループをクリックする

［削除］をクリックする

補足

ワンタッチダイヤルを使用するには、［送信］タブの［送信操作画面］で「ファクススタイル」を選択する必要があります。

アドレス帳をエクスポートする

アドレス帳は、CSV形式のファイル、または「Vcard」としてエクスポートすることができます。

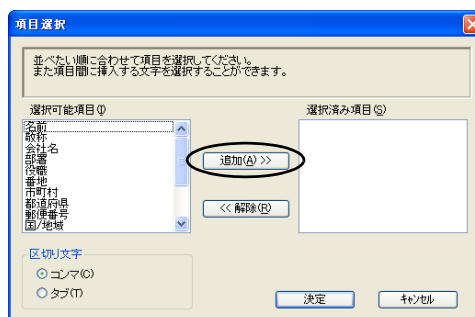
補足

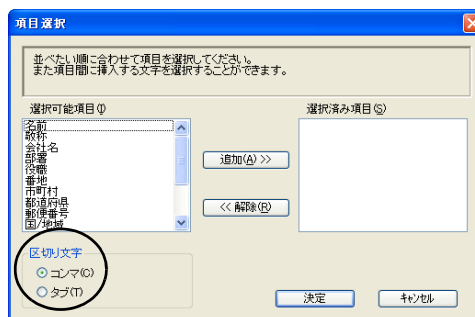
「Vcard」は、異なるプログラム、異なるハードウェアの間で使用できる「電子名刺」です。「Vcard」の情報は、拡張子「.vcf」のファイルとして保存されます。E メールで個人情報をやり取りするために規格化された情報で、E メールの添付ファイルの機能を拡張し、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りすることができます。

CSV形式でエクスポートする

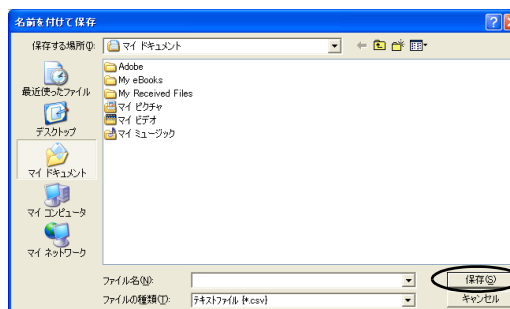
［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、［ファイル］－［エクスポート］－［Text］の順にクリックする

［選択可能項目］欄でエクスポートする項目を選んで、［追加］をクリックする

追加したい項目について、この操作を繰り返します。

［区切り文字］で［コンマ］または［タブ］を選択する

この設定により、エクスポート時に各項目の間にタブかコンマが挿入されます。

［決定］をクリックする

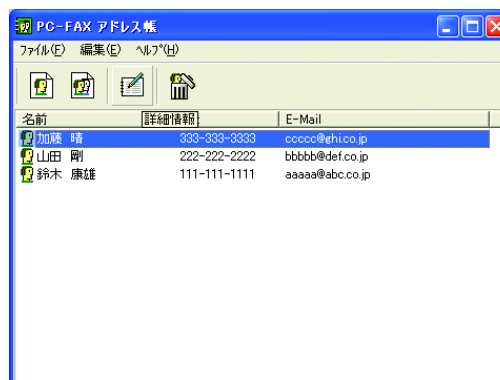
データがエクスポートされます。

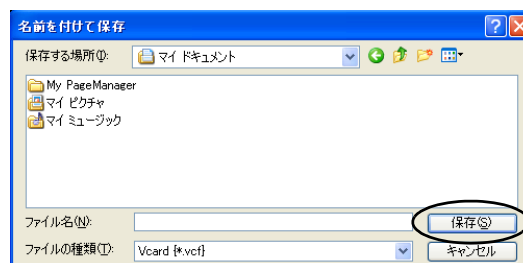
ファイル名を入力してから、［保存］をクリックする

補足

- アドレス帳をエクスポートすることにより、他のアプリケーションのアドレス帳として使用することができます。
- エクスポートする項目を選択する場合は、並べたい順番に選択してください。

Vcard（vcf形式）でエクスポートする

［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、エクスポートしたい相手先をクリックする

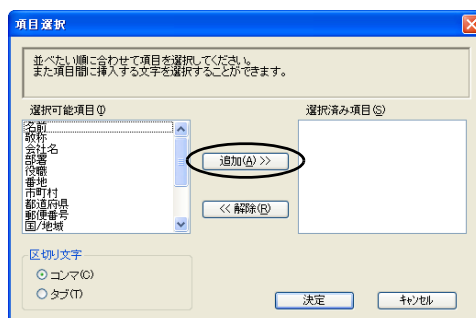
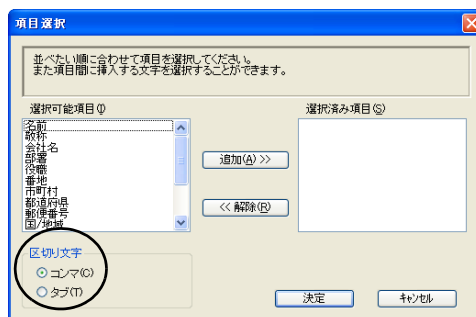
追加したい相手先について、この操作を繰り返します。

［ファイル］ー［エクスポート］ー［Vcard］の順にクリックする

ファイル名を入力してから、［保存］をクリックする

アドレス帳をインポートする

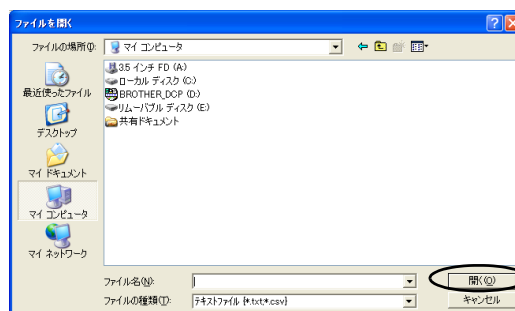
CSV形式のファイルまたは「Vcard」を、アドレス帳にインポートできます。

CSV形式でインポートする

[PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、［ファイル］－［インポート］－［Text］の順にクリックする

［選択可能項目］欄からインポートする項目を選択してから、［追加］をクリックする

3　インポートするファイル形式により、［区切り文字］で［コンマ］または［タブ］を選択する

［決定］をクリックする

データがインポートされます。

インポートするファイルを選択して、［開く］をクリックする

Vcard（vcf形式）でインポートする

[PC ファクス アドレス帳］ダイアログボックスで、［ファイル］－［インポート］－［Vcard］の順にクリックする

インポートするファイルを選択して、［開く］をクリックする

選んだ vcf 形式のデータが、PC ファクスアドレス帳に追加されます。

送付書を作成する

ファクスを送信する画面（シンプルスタイルまたはファクススタイル）で をクリックすると、以下の画面が表示されます。

＜シンプルスタイル＞　＜ファクススタイル＞

送付書に表示させたい項目のチェックボックスをチェックし、各項目を設定して、［決定］をクリックします。

① 送信先

送信先の情報を入力します。

② 送信元

送信元の情報を入力します。

③ コメント

送付書に追加するコメントを入力します。

④ フォーム

送付書のスタイルを選択します。

⑤ 送付書のタイトル

送付書のタイトルを選択します。
［カスタム］を選択すると、会社独自のロゴなどのビットマップファイルを挿入できます。［位置］で配置を選択します。

⑥ 送付書をページ数に加える

このボックスをチェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

補足

- 複数の相手先にファクスを送信する場合、受信者情報は送付書に印刷されません。
- 個人情報が設定されていれば、送信元の情報は自動的に引用されます。

コンピュータでファクスを受信する［PCファクス受信］

受信したファクスをデータとしてパソコンに保存します。

注意

■ファクスを受信したとき、コンピュータの電源が入っていなかったり、コンピュータと接続されていない場合は、本製品に受信データを保存します。

■コンピュータにファイアウォールなどの機能を持つソフトウェアがインストールされている場合は、いったん停止させるか、UDPのポート137/54926を有効に設定してください。

■PCファクス受信をご利用の間は、リモートセットアップの操作はできなくなります。

本製品をPCファクス受信モードにする／PCファクス受信するコンピュータを変更する

PCファクス受信を起動する前に、本製品の設定をする必要があります。

    を押す

▲または▼で、「PCファクス受信」を選び、OKを押す

▲または▼で、パソコンが接続されているインターフェースを選び、OKを押す

▲または▼で、印刷の設定を選択する

-「オン」：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
-「オフ」：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

OKを押す

 を押す

補足

ネットワーク環境の場合、複数のコンピュータが接続されていても、PCファクス受信するコンピュータとして指定できるのは1台だけです。

［PCファクス受信］を起動する

［スタート］メニューの、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 受信］－［PC-FAX 受信を起動］の順で選択する

タスクバー上に PC ファクスのアイコン 10:40 が表示されます。

補足

●ネットワーク環境でWindows® XP Service Pack 2またはWindows Vista® をご使用の場合は、PCファクス受信を起動すると［Windowsセキュリティの重要な警告］が表示されることがあります。その場合は［ブロックを解除する］を選択してください。

●受信したときの内容を設定する場合は、タスクトレイの PC ファクスアイコン を右クリックして「受信設定」を選びます。

①ファクス受信時に Wave ファイルを鳴らす

ファクス受信時にWaveファイルを鳴らす場合は、チェックしてWaveファイル名を入力するか、［参照］をクリックしてWaveファイルを選びます。

②スタートアップに登録する

このボックスをチェックすると、コンピュータを起動する際に自動的に［PC-FAX受信］が起動されます。

③ネットワーク設定（ネットワーク接続時のみ）

ネットワーク環境で使用する場合に設定します。クリックすると、IPアドレスやノード名などの設定ができます。

P.107 を参照してください。

●受信したファクスは My Documents￥My PageManager￥faxes フォルダに保存されます。（My Documents より上のフォルダ構成はご使用のコンピュータにより異なります。）

ネットワーク接続されたコンピュータに登録された本製品を変更をする

本製品で受信したファクスをコンピュータに送るための設定は、ソフトウェアのインストール時に終了しています。
ドライバのインストールについては、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
インストール時に設定した本製品を変更するときは、以下の手順に従ってください。

「Brother PC-FAX 受信設定」ダイアログの［ネットワーク設定］をクリックする

「ネットワーク設定」ダイアログが表示されます。

IPアドレスまたはノード名のいずれか適切な方法で本製品を指定してください。

① IP アドレスで本製品を指定

本製品のIPアドレスを入力してください。

②ノード名で本製品を指定

本製品のノード名を入力するか、［検索］をクリックし、一覧からご使用の製品を選択してください。

③表示用 PC 名登録

本製品のLCD画面に表示されるコンピュータ名を登録することができます。

受信したときは

PCファクスの受信を開始すると青色のアイコン、がタスクバー上で交互に表示されます。
受信が終了すると、が表示されます。

Presto!® Page Manager® を起動します。

「Faxes」フォルダを開く

新規のファクスをダブルクリックする

新規のファクスが開き、メッセージを確認することができます。
受信したメッセージを読み終わると、アイコンが緑色 に変わります。

補足

受信日時がファイル名として表示されます。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
その他の便利な使い方（ControlCenter2/3）
付録

Windows®編

6章

その他の便利な使い方（ControlCenter3）

ControlCenter3とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナ、PCファクスなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter3の画面

ControlCenter3には、「Modern」と「Classic」の2種類のスキンが用意されています。どちらも使用できる機能は同じです。

Modern画面

Classic画面

① スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、E メールにデータを添付することができます。P.112 を参照してください。

② カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。P.116 を参照してください。

③ コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。P.119 を参照してください。

④ PC ファクス（MFC-7340/MFC-7840W のみ）

スキャンした原稿を本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。P.120 を参照してください。

⑤ デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。P.121 を参照してください。

ControlCenter3を起動する

［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［ControlCenter3］を選択する

ControlCenter3 のウィンドウが開き、タスクトレイに が表示されます。

起動時の動作を設定する

コンピュータを起動したとき、ControlCenter3 も同時に起動させることができます。

タスクトレイの を右クリックし、［起動状態の設定］を選択する

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

起動時の動作を選択する

- パソコン起動時に起動する：
  パソコンが起動すると自動的にControlCenter3 が起動し、タスクトレイで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く：
  ControlCenter3 が起動すると、メインウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

［OK］をクリックする

ControlCenter3のスキンを変更する

「Modern」と「Classic」のどちらかのスキンを選択できます。

［設定］をクリックして、［ControlCenter の設定］-［使用するスキンの選択］を選ぶ

［スキンの選択］ダイアログボックスが表示されます。

「Modern」または「Classic」を選び、［OK］をクリックする

ControlCenter3 のスキンが変更されます。

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。

スキャンを実行する

ControlCenter3からスキャンを実行します。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

ControlCenter3 の「スキャン」をクリックする

Modernの場合

・Classicの場合

「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかをクリックする

原稿がスキャンされます。

- 「イメージ」を選択した場合
  設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。
- 「OCR」を選択した場合
  文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。
- 「Eメール」を選択した場合
  設定されているメールソフトが起動します。スキャンしたデータは、添付ファイルとして設定されます。
- 「ファイル」を選択した場合
  設定されている保存先に指定したファイル形式でデータが保存されます。

補足

「ファイル」を選択した場合、保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダ
  マイドキュメント￥マイピクチャ￥ControlCenter3￥Scan
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_xxxx
  CCF：好みの文字列に変更できます。「スキャンファイルの設定」P.115を参照してください。
  yyyy：西暦
  mm：月
  dd：日
  xxxx：通し番号

スキャンの設定を変更する

ボタンをクリックしたときに起動するアプリケーションやファイル形式などの設定を変更します。

「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかを右クリックして、［ControlCenter のボタン設定］を選択する

ControlCenter3 のボタン設定ダイアログボックスが表示されます。

［ControlCenter の設定］タブをクリックし、設定を変更する

設定できる内容は、ボタンによって異なります。

「スキャンイメージ/OCR/Eメールの設定」P.114
「スキャンファイルの設定」P.115

補足

本製品の［スキャン］ボタンからスキャンするときの設定を変更する場合は、「本製品上のスキャンボタン設定」タブをクリックして、設定を変更します。

［OK］をクリックする

設定が変更されます。

スキャンイメージ/OCR/Eメールの設定

① 使用するアプリケーション

スキャンした原稿を開くアプリケーションを選択します。［追加］をクリックして、新しいアプリケーションを追加することもできます。

② ファイル形式

データのファイル形式を選択します。

③ OCR アプリケーション（「OCR」のみ）

文字データ（テキストデータ）に変換するためのアプリケーション（OCRソフトウェア）を選択します。

④ OCR 言語（「OCR」のみ）

変換する言語を選択します。

⑤ プレビューを行う

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。ControlCenter3からスキャンを行う場合のみ設定できます。

⑥ 解像度 / 色数 / 原稿サイズ / 明るさ / コントラスト

必要に応じて設定します。

スキャンファイルの設定

① ファイル名

ファイル名先頭の文字（プレフィックス）を変更できます。日付部分は変更できません。

② ファイル形式

データのファイル形式を選択します。

③ 保存先フォルダ

スキャンしたデータを保存するフォルダを設定します。

④ 保存先フォルダを開く

チェックすると、スキャンした後に保存先のフォルダを開きます。

⑤ スキャン毎に名前をつける

チェックすると、スキャンするたびに保存先のフォルダとデータの名前を設定することができます。

⑥ プレビューを行う

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。ControlCenter3からスキャンを行う場合のみ設定できます。

⑦ 解像度 / 色数 / 原稿サイズ / 明るさ / コントラスト

必要に応じて設定します。

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。

スキャンの設定を登録する

ControlCenter3 の「カスタム」を選択する

- Modernの場合
  「スキャン」をクリックし、右側に表示された「カスタム」をクリックします。
- Classicの場合
  左側の機能一覧から「カスタム」をクリックします。

Modernの場合

・Classicの場合

「カスタム 1」ボタンを右クリックして [ControlCenter のボタン設定] を選択する

「ControlCenter3 のボタン設定」ダイアログボックスが表示されます。

Modernの場合

・Classicの場合

スキャンの名前と種類を設定する

「このカスタムスキャン設定の名前」に、登録するスキャン設定の名前を入力します。
スキャンの種類は、「スキャンイメージ」「スキャン OCR」「スキャン E メール」「スキャンファイル」から選びます。

「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

スキャンの種類によって、表示される項目が異なります。

「スキャンイメージ/OCR/Eメールの設定」P.114
「スキャンファイルの設定」P.115

［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

カスタムスキャンを実行する

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

ControlCenter3 の「カスタム」を選択する

- Modernの場合
  「スキャン」をクリックし、右側に表示された「カスタム」をクリックします。
- Classicの場合
  左側の機能一覧から「カスタム」をクリックします。

Modernの場合

・Classicの場合

実行するスキャンのボタンをクリックする

設定にしたがってスキャンが実行されます。

Modernの場合

・Classicの場合

コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。

コピーの設定を登録する

ボタンを右クリックして［ControlCenter のボタン設定］を選択する

「ControlCenter3 のボタン設定」－［コピー］ダイアログボックスが表示されます。

「このコピー設定の名前」に名前を入力する

「コピー設定」を選択する

「コピー設定」は、「100%」または「用紙サイズに合わせる」から選びます。

他の項目を必要に応じて設定する

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。

［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

原稿をセットし、設定したボタンをクリックする

設定に従ってコピーが実行されます。

PCファクス（MFC-7340/MFC-7840Wのみ）

スキャンした原稿を本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、コンピュータで内容を確認することもできます。

① PC-FAX 送信

スキャンした原稿をPCファクス送信します。
右クリックでスキャンするデータの設定ができます。

PCファクス 送信の操作については、P.91 またはP.92 を参照してください。

② PC-FAX 受信を起動

ファクスをコンピュータで受信するときにクリックします。ファクスを受信すると、ボタンが に変わります。

PCファクス 受信の設定および操作については、P.105 を参照してください。

③ PC-FAX アドレス帳

PCファクスのアドレス帳に相手先を登録します。

PCファクスアドレス帳の操作については、P.90 を参照してください。

④ PC-FAX 設定

PCファクスを送信するとき、ファクスのヘッダや送信者名に挿入される個人情報を登録、編集します。

個人情報の登録については、P.88 を参照してください。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
その他の便利な使い方（ControlCenter2/3）
付録

デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。

① リモートセットアップ（MFC-7340/MFC-7840W のみ）

コンピュータ上で本製品に関する機能設定ができます。

リモートセットアップについては、P.78 を参照してください。

② 電話帳（MFC-7340/MFC-7840W のみ）

コンピュータ上で本製品の電話帳に関する操作ができます。

詳しくは P.84 を参照してください。

③ ステータスモニタ

コンピュータ上で本製品のステータスモニタが確認できます。

詳しくは P.26 を参照してください。

④ ユーザーズガイド

コンピュータ上で本製品の「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照できます。

Macintosh®編

1章

プリンタとして使う

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本製品をプリンタとして使用するには、付属のCD-ROMの中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。CD-ROMの中には、Apple社製Macintosh®のUSBポート搭載機で、Mac OS® X 10.2.4以降に対応のプリンタドライバが用意されています。このドライバは、Mac OS®に簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定等ができます。Macintosh®との接続やドライバのインストール方法については、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

プリンタとしての特長

本製品は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもMacintosh®からのデータを印刷することができます。
ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。
以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷

1分間に最高21枚の片面印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）

● 2400 × 600dpi 出力

普通紙に2400×600dpi相当の解像度で印刷します。

● USB（Universal Serial Bus）に対応

Full-Speed USB 2.0に対応します。

● 多彩な記録紙対応

本製品は普通紙、ラベル紙、はがきおよびOHPフィルムなどに対応します。

● ネットワークプリント（MFC-7840W のみ）

ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

● セキュリティ印刷 (MFC-7840W のみ)

データ印刷時、設定したパスワードを本製品の操作パネルで入力しないと印刷できないようにします。書類の機密保持に役立ちます。詳しくはP.140を参照してください。

補足

- 解像度などの設定についてはP.137を参照してください。
- 記録紙についての詳細は、ユーザーズガイド（印刷版）「1章 ご使用の前に　記録紙について」を参照してください。
- 印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。

- 本製品が Macintosh® からのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのは Macintosh® の印刷終了後です。また、Macintosh® から印刷中にファクスを受信すると、Macintosh® の印刷終了後にファクス受信の記録が行われます。ファクス送信は、印刷中でも継続されます。

■ご使用のソフトウェアの種類やMacintosh®の環境によっては、本製品で印刷できない場合もあります。

■用紙を再度挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。

■非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。

印刷する

印刷する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［用紙設定］または［ページ設定］を選択する

用紙サイズや印刷向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

［プリント］をクリックする

手差しスロットを使用して印刷する

手差しスロットからは、記録紙を一度に一枚ずつ給紙します。記録紙を記録紙トレイから取り出す必要はありません。

普通紙、再生紙、OHPフィルムに印刷する場合

補足

手差しスロットに記録紙を挿入すると、本製品は自動的に手差しスロットからの印刷モードに切り替わります。

排紙ストッパーを開く

印刷された記録紙が上面排紙トレイから滑り落ちたり、原稿と記録紙の両方が本製品から滑り落ちることを防ぎます。

手差しスロットカバーを開く

3 手差しガイドを両手で持って、記録紙のサイズに合わせる

4 印刷する面を上にして記録紙を両手で持ち、手差しスロットから挿入する

記録紙の先端が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、記録紙が少し引き込まれるまで、そのままの状態で待ちます。給紙をはじめたら、記録紙から手を離します。

5 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

6 ［プリント］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択する

7 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［プリント］をクリックする

印刷した記録紙を本製品が排出したら、手順 4 にしたがって次の記録紙を挿入します。
印刷は枚数分繰り返してください。

厚紙、封筒、ラベル紙に印刷する場合

バックカバーを開くと、手差しスロットに挿入した記録紙を曲げずに背面から取り出すことができます。

補足

- 紙づまりしないように、印刷後は背面排紙トレイから記録紙をすぐに取り出してください。
- 手差しスロットに記録紙を挿入すると、本製品は自動的に手差しスロットからの印刷モードに切り替わります。

1 バックカバーを開く

2

手差しスロットカバーを開く

手差しガイドを両手で持って、記録紙のサイズに合わせる

印刷する面を上にして記録紙または封筒を両手で持ち、手差しスロットから挿入する

記録紙の先端が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、記録紙が少し引き込まれるまで、そのままの状態で待ちます。給紙をはじめたら、記録紙から手を離します。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

［プリント］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択する

用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［プリント］をクリックする

印刷した記録紙を本製品が排出したら、手順 4 にしたがって次の記録紙を挿入します。
印刷は枚数分繰り返してください。

注意

■手差しスロットに記録紙を挿入するときは、印刷面を上にして挿入してください。

■記録紙は正しい位置にまっすぐ挿入してください。正しく挿入されないと、印刷のゆがみや紙づまりの原因となります。

■手差しスロットに2枚以上の記録紙を同時に挿入しないでください。紙づまりの原因となります。

■サイズの小さな記録紙を取り出すときは、スキャナカバーを両手でゆっくり開いてください。

■スキャナカバーを開いた状態でも印刷ができます。スキャナカバーを閉めるときは、両手でゆっくり閉じてください。

操作パネルからの操作

印刷をキャンセルする

本製品内のメモリーに蓄積されている印刷用データの消去および印刷中のジョブをキャンセルします。

MFC-7340/MFC-7840Wの場合

キャンセル を押す

メモリー内のデータが消去されます。

すべての印刷用データやジョブを消去したい場合は、液晶ディスプレイに「ジョブキャンセル（全て）」と表示されるまで キャンセル を押します。

DCP-7030/DCP-7040の場合

キャンセル を押す

メモリー内のデータが消去されます。

補足

すべての印刷用データやジョブを消去したい場合は、液晶ディスプレイに「ジョブキャンセル（全て）」と表示されるまで キャンセル を押します。

フォントリストの出力（MFC-7840Wのみ）

本製品の内蔵フォントリストを印刷できます。

メニュー、4 GHI、1、1 の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

スタート を押す

フォントリストが出力されます。

停止/終了 を押す

プリンタ設定内容リストの出力

現在のプリンタの設定内容を印刷できます。

MFC-7840Wの場合

、、、の順に押す

で選択して OK で決定することも可能です。

を押す

プリント設定内容が出力されます。

を押す

DCP-7030/DCP-7040の場合

メニュー を押し▲または▼で「1. 基本設定」を選択して OK を押す

▲または▼で「6. 設定内容リスト」を選択して OK を押す

を押す

プリント設定内容が出力されます。

を押す

テスト印刷（MFC-7840Wのみ）

印刷の品質をテスト印刷して確認します。

、、の順に押す

で選択して OK で決定することも可能です。

を押す

テスト印刷が出力されます。

を押す

プリント設定の初期化（MFC-7840Wのみ）

プリント設定内容をお買い上げ時の状態にすることができます。

の順に押す

または　で選択して　OK　で決定することも可能です。

を押す

プリント設定内容が初期化されます。

を押す

印刷状況を確認する（ステータスモニタ）

ご使用のMacintosh®からステータスモニタで本製品の印刷状況などを確認できます。

ステータスモニタを起動する

［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］から［ブラザーステータスモニタ］アイコンをクリックすると、ステータスモニタが起動し、ステータスモニタウィンドウが表示されます。
ControlCenter2を使ってステータスモニタを起動することもできます。詳しくはP.191を参照してください。

本製品の状態表示の更新

をクリックすると、ご使用のMacintosh®と本製品が通信を開始し、本製品の状態を確認できます。

更新間隔の変更

本製品の状態表示の自動更新間隔を変更することができます。

メニューバーの［ブラザーステータスモニタ］から［環境設定］を選択する

［環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

［入］にチェックが入っていることを確認して、［リフレッシュ間隔］に数値を入力する

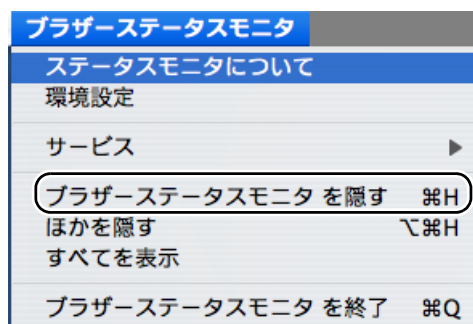
［OK］をクリックする

ウインドウの格納と表示

• ステータスモニタ起動後、ステータスモニタウインドウを格納（非表示に）するには、メニューバーの［ブラザーステータスモニタ］から［ブラザーステータスモニタを隠す］を選択します。
• ステータスモニタ格納後、再度ステータスモニタウインドウを表示するには、ドックのをクリックします。また、ControlCenter 2のデバイス設定タブからステータスモニタをクリックしてもウインドウが表示されます。

ブラザーステータスモニタ
ステータスモニタについて
環境設定
サービス ▶
ブラザーステータスモニタ を隠す ⌘H
ほかを隠す ⌥⌘H
すべてを表示
ブラザーステータスモニタ を終了 ⌘Q

ステータスモニタの終了

ステータスモニタを終了するには、メニューバーの［ブラザーステータスモニタ］から［ブラザーステータスモニタを終了］を選択します。

ウェブブラウザを使用して本製品にアクセスする（MFC-7840Wのみ）

• 標準のウェブブラウザで HTTP（Hyper　Text　Transfer　Protocol）を使用して、本製品を管理することが出来ます。詳しくは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。
• ステータスモニタウインドウのをクリックするとウェブブラウザを使用して本製品にアクセスすることができます。

プリンタドライバの設定をする

プリンタドライバで設定できる項目は、OSが異なっていても基本的に同じです。
ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択する

［対象プリンタ］がご使用のモデルになっていることを確認してください。
以下の項目が設定できます。
- 用紙サイズ
- 方向
- 拡大縮小

設定が終わったら、［OK］をクリックする

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

［プリンタ］がご使用のモデルになっていることを確認してください。

- Mac OS® X 10.2.4～10.4.x の場合は、手順4に進みます。
- Mac OS® X 10.5の場合は、手順3に進みます。

10.4.9以前の場合

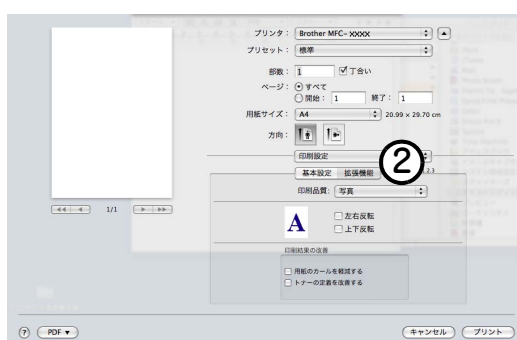
10.5の場合

［プリンタ］ポップアップメニューの横の▼をクリックする

ポップアップメニューから［印刷設定］を選択する

以下の項目が設定できます。

①基本設定
- 解像度
- トナー節約モード
- 用紙種類

②拡張機能
- 印刷品質
- 左右反転
- 上下反転
- 印刷結果の改善
- スリープまでの時間

各項目を設定する

設定内容の詳細はP.136を参照してください。

［プリント］をクリックする

印刷が開始されます。

ドライバでの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

［基本設定］画面での設定項目

①解像度

解像度を次の3種類から選択します。

「300 dpi」：　1 インチあたり 300 × 300 ドットの解像度で印刷します。
「600 dpi」：　1 インチあたり 600 × 600 ドットの解像度で印刷します。
「HQ1200」：　1 インチあたり 2400 × 600 ドットの解像度で印刷します。

注意

■"メモリーフル"エラーがでる場合は、解像度を下げて印刷してください。

②トナー節約モード

トナー節約モードで印刷することにより、消費するトナーを節約してランニングコストを節減することができます。

③ 用紙種類

使用する用紙のタイプを選択します。用紙の種類にあった用紙媒体を選択することによって、印刷品質が向上します。

- 普通紙
- 普通紙（厚め）
- 厚紙（ハガキ）
- 超厚紙
- ボンド紙
- OHP
- 封筒
- 封筒（厚め）

- 封筒（薄め）
- 再生紙

市販されている薄めの普通紙やコピー用紙を使用している場合は、［普通紙］を選択します。
市販されている普通紙やコピー用紙を使用している場合は、［普通紙（厚め）］を選択します。
厚めの用紙を使用している場合は、［厚紙］を選択します。［厚紙］を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合は、［超厚紙］を選択します。
再生紙には［再生紙］を選択します。

④ サポート

- Brother Solutions Center
  FAQ（よくある質問）、ユーザーズガイド、ドライバの更新、機器の使用上のヒントなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているウェブサイトです。
- ブラザー純正消耗品のご案内
  ブラザー純正の消耗品についての情報を提供しているホームページが表示されます。

［拡張機能］画面での設定項目

① 印刷品質

記録紙や原稿、使用目的に合わせて選択します。

- 写真……………………写真など階調が連続している印刷に適した設定です。
  暗部の微妙な階調の変化を再現できます。
- グラフィックス……………グラフィックスなど、線やグラデーションに適した設定です。はっきりした濃さの表現になります。写真を印刷した場合、コントラストの大きい印刷になります。
- チャート/グラフ……………ビジネス文書やプレゼンテーション資料など、文字・グラフ・チャートが多い印刷に適した設定です。
  同じ濃さの領域は、ざらつきを少なく印刷します。

② 左右反転

左右に反転して印刷することができます。

③ 上下反転

上下に反転して印刷することができます。

④ 印刷結果の改善

- **用紙のカールを軽減する**

  印刷された用紙のカールが大きい場合、「用紙のカールを軽減する」チェックボックスをチェックすることでカールが軽減される場合があります。
  チェックしても改善されない場合は、［基本設定］画面の用紙種類P.136をより薄いものに変更してください。

- **トナーの定着を改善する**

  印刷された用紙からトナーが剥がれてしまう場合、「トナーの定着を改善する」チェックボックスをチェックすることで改善される場合があります。
  チェックしても改善されない場合は、［基本設定］画面の用紙種類P.136をより厚いものに変更してください。

その他の設定内容

［レイアウト］での設定項目

① ページ数／枚

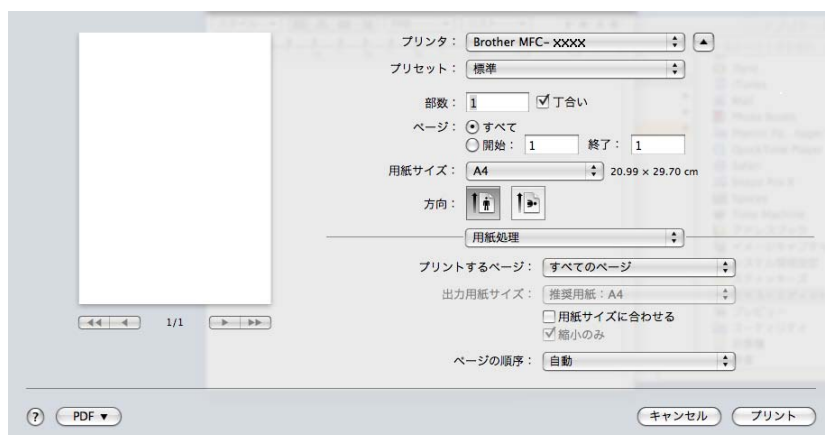
イメージのサイズを縮小して複数のページを1枚の用紙に印刷することができます。
1枚の用紙に印刷するページ数を「1」、「2」、「4」、「6」、「9」、「16」から選択します。

② レイアウト方向

複数ページのレイアウト方向を選択します。

③ 境界線

複数ページを1枚の用紙に印刷する場合、各ページに仕切り線を挿入することができます。
仕切り線のタイプを「なし」、「極細線」、「細線」、「極細2本線」、「細2本線」から選択します。

手動両面印刷

■ 手動両面印刷（Mac OS® X 10.3 以降）

［用紙処理］を選択し、［プリント］で「奇数ページ」選択して印刷した後、「偶数ページ」を選択して印刷します。

［セキュリティ印刷］での設定項目

● セキュリティ印刷（MFC-7840W のみ）

Macintosh® から本製品に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信してただちに印刷すると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合は、セキュリティ印刷が役に立ちます。セキュリティ印刷の流れは以下のとおりです。

Macintosh®でセキュリティ印刷機能をオンにして、パスワードを設定する

▼

Macintosh®で印刷を実行する

▼

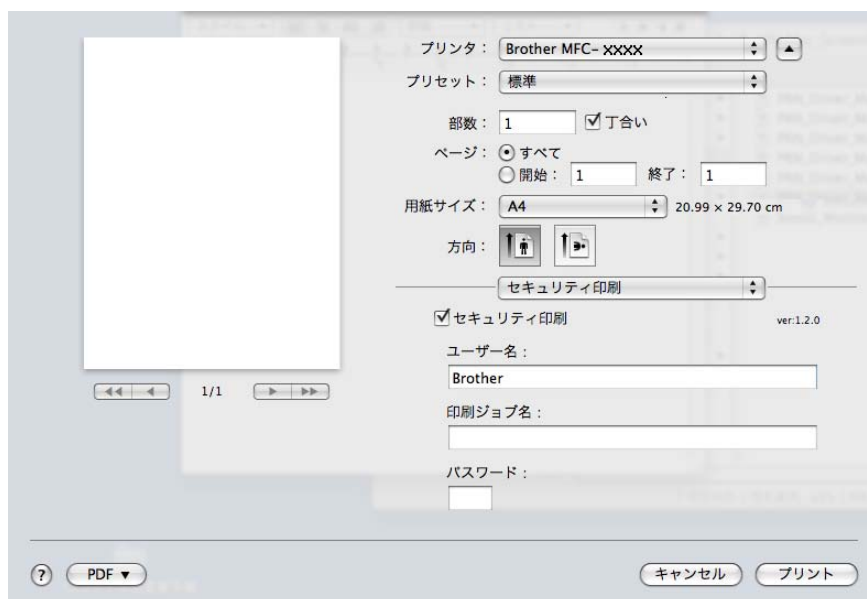
印刷データが本製品に届き、本製品内に保持される

▼

本製品の操作パネルでパスワードを入力すると、データが印刷される

パスワードが設定されていると、本製品は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データは本製品の電源をオフにすると消去されます。
パスワードを入力して印刷後、データはメモリーからクリアされます。

● Macintosh® の操作

［セキュリティ印刷］で、セキュリティ印刷チェックボックスにチェックを付ける

パスワード、ユーザー名、印刷ジョブ名を設定する

パスワードは半角 4 桁数字、ユーザー名と印刷ジョブ名は半角英数字で入力してください。

［プリント］をクリックする

● 本製品の操作

セキュリティを押す

メモリーにセキュリティデータがない場合は、「データガ　アリマセン」と表示されます。

▲または▼を押してユーザーを選択し、OKを押す

▲▼で選択&OKボタン
Brother

▲または▼を押して印刷したいデータを選択し、OKを押す

▲▼で選択&OKボタン
TEST1

4桁のパスワードを入力し、OKを押す

入力&OKボタン
パスワード：XXXX

▲または▼を押して「プリント」を選択し、OKを押す

▲▼で選択&OKボタン
プリント

- 印刷を開始します。
- 印刷をしないでデータを削除する場合は、▲または▼を押して「ショウキョ」を選択し、OKを押してください。

Macintosh®編

2章

スキャナとして使う

スキャナとして使う前に

必要な準備

本製品をスキャナとして使用する場合は、以下の準備が必要です。

スキャナドライバをインストールする

付属のCD-ROMに収録されているドライバのインストールが必要です。「かんたん設置ガイド」に従ってインストールしてください。詳しくは、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

ただし、以下の場合はドライバのインストールは不要です。

- 「スキャンした原稿をEメールで送る【スキャン to Eメール添付】」P.146
- 「スキャンした原稿をFTPサーバーに送る【スキャン to FTP】（MFC-7840Wのみ）」P.154

ネットワーク接続の場合の準備（MFC-7840Wのみ）

● ネットワークを設定する

ネットワーク経由で本製品のスキャン機能を使用するには、本製品にTCP/IPの設定が必要です。ネットワークプリンタとしてのTCP/IP設定がすでに完了していれば設定済みですが、そうでない場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

● スキャンするデバイスを選択する

ネットワーク経由で本製品のスキャン機能を使用するには、スキャンするデバイスをあらかじめ選んでおく必要があります。スキャンするデバイスを変更する場合は、以下の手順で操作してください。

［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［DeviceSelector］の［デバイスセレクタ］をダブルクリックする

「デバイスセレクタ」画面が開きます。
デバイスセレクタは ControlCenter2 からも起動できます。

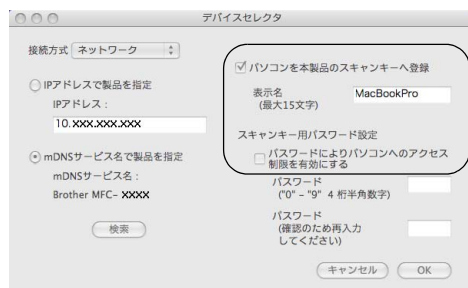
IP アドレスまたは mDNS サービス名で本製品を指定する

IP アドレスを変更するには、新しい IP アドレスを入力してください。
製品名の一覧から本製品を選択することもできます。
［検索］をクリックして一覧を表示してください。

項目を設定する

［OK］をクリックする

補足

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンしたい場合は、「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」をオンにして、表示名にお使いのMacintosh®の名前を入力します。
- スキャンした原稿データをMacintosh®に保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。「パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする」をオンにして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2/3)
付録

スキャン方法を選ぶ

スキャンの目的や操作方法などによって、最適なスキャン方法を選んでください。

やりたいこと	使用する機能またはアプリケーション	詳細	参照先
スキャンデータを送りたい	スキャン to Eメール添付	スキャンしたデータをMacintosh®から新規メールとして送信します。(複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。)	P.146
スキャンデータを編集したい	スキャン toイメージ	スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	P.148
	TWAIドライバ対応のアプリケーション	解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	P.157
	スキャン to OCR	スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Word等で編集できます。	P.150
スキャンデータを保存したい	スキャン to ファイル	スキャンしたデータをMacintosh®のハードディスクに保存します。	P.152
	スキャン to FTP※	スキャンしたデータを指定したFTPサーバーに保存します。	P.154

※ MFC-7840Wのみ

補足

●ドライバやソフトウェアのインストール方法については、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

●「Presto!® PageManager®」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋6-21-3
ニューソフトカスタマーサポートセンター
Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
受付時間：10：00 ～12：00 、13：00 ～17：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）
電子メール：support@newsoft.co.jp
ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

●TWAINとは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。

本製品のスキャンボタンからスキャンする

操作パネルの スキャン（MFC-7340/MFC-7840W）／ スキャン（DCP-7030/DCP-7040）を押してスキャンした原稿データを、Macintosh®に送ってさまざまな形で利用します。

スキャンした原稿をEメールで送る【スキャン to Eメール添付】

スキャンした原稿をEメールに添付して取り込むことができます。スキャンした原稿データがMacintosh®に届くと、メール送信画面が起動します。

MFC-7340/MFC-7840Wの場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「Eメール：Eメール添付」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
Eメール：Eメール添付

OK を押す

（ネットワーク接続の場合）

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh® を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh® が表示されます。

OK を押す

パスワードの入力を求められたら、ダイヤルボタンを使用して 4 桁のパスワードを入力し、OK を押します。

スタート を押す

原稿のスキャンが開始されます。

DCP-7030/DCP-7040の場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

を押す

または を押して「E メール：E メール添付」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
Eメール：Eメール添付

OK を押す

を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

- スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter2で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。
- ［スキャン］ボタンを使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2　から変更できます。詳しくはP.183を参照してください。
- ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

スキャンした原稿をアプリケーションに送る【スキャン to イメージ】

スキャンした原稿をMacintosh®のアプリケーションに直接送ることができます。スキャンした原稿のデータがMacintosh®に届くと、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、Macintosh®の画面に表示されます。

MFC-7340/MFC-7840Wの場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「ｲﾒｰｼﾞ：PC 画像表示」を選択する

▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
ｲﾒｰｼﾞ：PC画像表示

OK を押す

（ネットワーク接続の場合）

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh® を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh® が表示されます。

OK を押す

パスワードの入力を求められたら、ダイヤルボタンを使用して 4 桁のパスワードを入力し、OK を押します。

スタート を押す

原稿のスキャンが開始されます。

DCP-7030/DCP-7040の場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャンを押す

▲または▼を押して「ｲﾒｰｼﾞ：PC 画像表示」を選択する

▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
ｲﾒｰｼﾞ：PC画像表示

OKを押す

スタートを押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

ControlCenter2で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくはP.184を参照してください。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする【スキャン to OCR】

原稿が文字テキストであれば、Presto!® PageManager® を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

MFC-7340/MFC-7840Wの場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「OCR：テキストデータ変換」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
OCR：テキストデータ変換

OK を押す

（ネットワーク接続の場合）

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh® を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh® が表示されます。

OK を押す

パスワードの入力を求められたら、ダイヤルボタンを使用して 4 桁のパスワードを入力し、OK を押します。

スタート を押す

原稿のスキャンが開始されます。

DCP-7030/DCP-7040の場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「OCR：テキストデータ変換」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
OCR：テキストデータ変換

OK を押す

を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

- Presto!® PageManager®が起動し、画像データにOCR（光学的手法による文字認識）の処理が行われます。
  認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャンした原稿を指定したフォルダに保存する【スキャン to ファイル】

スキャンした原稿を、Macintosh® の指定したフォルダに保存します。保存の際のファイル形式および保存先フォルダの設定は、ControlCenter2で行います。詳しくは、P.184 を参照してください。

MFC-7340/MFC-7840Wの場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン **を押す**

または を押して「ﾌｧｲﾙ：ﾌｫﾙﾀﾞ保存」を選択する

▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
ﾌｧｲﾙ：ﾌｫﾙﾀﾞ 保存

OK **を押す**

（ネットワーク接続の場合）

または を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh® を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh® が表示されます。

OK **を押す**

パスワードの入力を求められたら、ダイヤルボタンを使用して 4 桁のパスワードを入力し、OK を押します。

スタート **を押す**

原稿のスキャンが開始されます。

DCP-7030/DCP-7040の場合

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

（スキャン）を押す

（▲）または（▼）を押して「ﾌｧｲﾙ：ﾌｫﾙﾀﾞ保存」を選択する

```
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
ﾌｧｲﾙ：ﾌｫﾙﾀﾞ 保存　▲▼
```

4

（OK）を押す

（スタート）を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

- 保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。
  - 保存先フォルダ
    ユーザ¥xxx¥ピクチャ
  - ファイル形式
    JPG
  - ファイル名
    CCFyyyymmdd_xxxxx
    yyyy：西暦
    mm：月
    dd：日
    xxxxx：通し番号
- ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

スキャンした原稿をFTPサーバーに送る【スキャン to FTP】（MFC-7840Wのみ）

操作パネルの スキャン を押してスキャンした原稿データを、FTPに保存します。
ドライバのインストールは不要です。
この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたFTPサーバー上に保存する機能です。
スキャン to FTP を使用するには、送信先の情報を操作パネルから手動で入力するか、ウェブブラウザであらかじめ登録したFTPサーバー（10件）を選択します。操作パネルから入力する方法はP.155、ウェブブラウザで登録する方法はP.162を参照してください。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバーに送る

スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする

スキャン **を押す**

▲ **または** ▼ **を押して「ｽｷｬﾝ　to　FTP」を選択する**

```
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
ｽｷｬﾝ to FTP      ▲▼
```

OK **を押す**

▲ **または** ▼ **を押して送信したい FTP サーバーを選択する**

送信先の FTP サーバーを登録する方法は、P.162 を参照してください。

OK **を押す**

スタート **を押す**

ディスプレイに「接続中」と表示される

FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

FTP サーバーは登録されているが、その登録内容の中でブランク（未設定）になっている項目がある場合は、液晶ディスプレイ上で選択する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示にならって設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、保存先フォルダが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

スキャンした原稿を手動でFTPサーバーに送る

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

3 ▲または▼を押して「スキャン to FTP」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
スキャン to FTP

4 OKを押す

5 ▲または▼を押して、「手動設定」を選択する

6 OKを押す

7 ダイヤルボタンを使用してFTPサーバーのドメイン名を入力する

ドメイン名、（例：ftp.example.com）またはIPアドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

8 OKを押す

9 ダイヤルボタンを押して保存先のフォルダ名を入力する

例：brother/abc/

10 OKを押す

11 ▲または▼を押して、［ユーザー名 入力］か［設定変更］を選択する

- ［ユーザー名 入力］を選択した場合は、手順13に進みます。
- 解像度は次の下記の中から選択できます。
  - カラー 150 dpi
  - カラー 300 dpi
  - カラー 600 dpi
  - グレー 100 dpi
  - グレー 200 dpi
  - グレー 300 dpi
  - モノクロ 200 dpi
  - モノクロ 200x100 dpi

12 ▲または▼を押して、画像の形式を選択する

- カラーまたはグレーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択できます。

13 ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーにログインするためのユーザ名を入力する

14 OK を押す

15 ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力する

16 OK を押す

17
を押す

18 ディスプレイに「接続中」と表示される

FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

タイムアウトまたは他のエラーが発生した場合は、手順 1 からやり直してください。FTP サーバーに登録された本製品のユーザ名、パスワードに誤りがある場合、本製品の液晶ディスプレイに「認証ｴﾗｰ」と表示されます。手順 1 からやり直してください。

アプリケーションから直接スキャンする

Macintosh®側で、TWAIN対応のアプリケーションを操作してスキャンします。

TWAINドライバを使ってスキャンする

Macintosh® からスキャンする場合は、TWAIN ドライバを使用し、TWAIN 対応のアプリケーション（Presto!® PageManager®、Adobe Photoshop®など）から実行します。本製品がDevice Selectorで選択されていることを確認してください。

Macintosh® を起動してアプリケーションソフトを起動する

ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

Brother TWAIN のスキャナウィンドウを表示させる

お使いのアプリケーションソフトウェアによってメニューの名称などは異なります。

- Presto!® PageManager®の場合
  ［ファイル］メニューから［原稿をスキャンし、イメージデータを取り込む］の順に選択する

［プレスキャン］をクリックする

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

点線をドラッグして、実際にスキャンする範囲を調節する

必要に応じてスキャナウィンドウ内の項目を設定する

設定項目の詳細については、P.158 を参照してください。

［スタート］ボタンをクリックする

スキャンが終了するとアプリケーション上にイメージが表示されます。

TWAINダイアログボックスの設定項目

TWAINダイアログボックスでは、以下の項目が設定できます。

● 解像度

スキャンの解像度は、解像度ポップアップメニューから選択します。より高い解像度を選択すると時間はかかりますが、精密なイメージを取り込むことができます。

● 色数

取り込む色数を設定します。

白黒

線画およびテキストのとき。

グレイ（誤差拡散方式）

写真を含む原稿で比較的階調がはっきりしている原稿のとき。

256 階調グレイ

写真を含む原稿で微妙な表現を要求されるとき。

8 ビットカラー

256色のカラーで取り込みます。ビジネス文書等に最適です。（解像度1200×1200dpi以上は対応していません。）

24 ビットカラー

1677万色のカラーで取り込みます。「8ビットカラー」の約3倍の容量です。

● 原稿サイズ

読み込む範囲を設定します。ポップアップメニューから選択することができます。また、任意の寸法を入力したり任意の範囲を指定することもできます。

● イメージ調整

［イメージ調整］ボタンをクリックして、「明るさ」「コントラスト」「ColorSync」を調整します。
濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

「ColorSyncは」、ColorSync™を使って色補正を行う場合の基準を設定します。

- マッチングスタイル

  知覚的（画像）…写真のようなイメージのとき選びます。

  彩度（グラフィックス）…はっきりしたイメージで彩度を要求されるとき選びます。

  相対的な色域を維持…色と色の関係（対比）が重要なとき選びます。

  絶対的な色域を維持…シンボルカラーのような色そのものが持つイメージが重要なとき選びます。

- スキャナ用プロファイル

  Brother sRGB Scannerを選びます。

Macintosh®編

3章

ソフトウェアを使うための設定（MFC-7840Wのみ）

操作パネルからの設定

本製品のスキャン機能のうち、スキャン to FTPでは、解像度とファイル形式の初期設定を以下の手順で変更できます。

スキャン to FTPの初期設定を変更する

の順に押す

またはで選択してで決定することも可能です。

またはを押して解像度とカラー / グレー / モノクロを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー 150 dpi
- カラー 300 dpi
- カラー 600 dpi
- グレー 100 dpi
- グレー 200 dpi
- グレー 300 dpi
- モノクロ 200 dpi
- モノクロ 200×100dpi

を押す

またはを押して画像の形式を選択する

- カラー /グレーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択できます。

を押す

を押す

FTPの保存先を登録する

本製品でスキャンした原稿をFTPサーバーに保存する際の送信先を、あらかじめFTPプロファイルとして10件まで登録しておくことができます。

補足

各項目には、以下の文字数が入力できます。
- プロファイル名.....................................15字以内
- ホストアドレス（ドメイン名）.............60字以内
- ユーザ名..32字以内
- パスワード...32字以内
- 送信先フォルダ.......................................60字以内

ウェブブラウザのアドレス入力欄に、http://ip address（ip address はご使用になる本製品の IP アドレス）を入力する

- パスワードを入力する必要があります（初期設定は“access”です）。
- IPアドレスはLAN設定内容リストで確認することができます。LAN設定内容リストの印刷方法については ユーザーズガイド（印刷版）「4章 レポート・リスト　LAN設定内容リストを印刷する（MFC-7840Wのみ）」を参照してください。

[管理者設定] を選択し、「スキャン to FTP」をクリックする

登録したい「プロファイル」をクリックする

FTP サーバーのプロファイル名を入力する

入力したプロファイル名が本製品の液晶ディスプレイに表示されます。

「FTP サーバアドレス」に FTP サーバーのドメイン名を入力する

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

6 FTP サーバーにログインするためのユーザ名を入力する

7 FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力する

8 スキャンした原稿の転送先フォルダを入力する

転送先フォルダのパスを入力します。（例：brother/abc/）

9 プルダウンリストから、画像を保存するファイル名を選択する

ファイル名は、あらかじめ用意されている 7 種類か、オリジナル 2 種類から選びます。オリジナルファイル名の登録方法は、次の「オリジナルファイル名を登録する」を参照してください。
スキャンした原稿のファイル名には、選択したファイル名＋スキャナのカウンタ（6 文字）＋拡張子が付きます（例：Mitsumori098765.pdf）。

10 プルダウンリストから解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　150　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

11 プルダウンリストから画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

12 パッシブモードを設定する

お使いの FTP サーバーやファイアウォールの設定によって、ON または OFF に設定します。
お買い上げ時は ON に設定されています。
ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありません。

13 ポート番号を設定する

FTP サーバーにアクセスするためのポート番号を設定します。
お買い上げ時は 21 番に設定されています。
ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありません。

14 OK をクリックする

設定した内容で、FTP プロファイルが登録されます。

オリジナルファイル名を登録する

ファイル名は、用意されている7種類のほかに好みのものを2種類登録できます。

スキャン to FTP の画面で、［オリジナルファイル名登録］ をクリックする

オリジナルファイル名の入力欄に登録したいファイル名を入力し、［OK］ をクリックする

- ファイル名は半角英数字で15文字まで入力できます。

4章

リモートセットアップ（MFC-7340/MFC-7840Wのみ）

リモートセットアップについて

通常、本製品に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションボタンとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本製品に対する機能設定をMacintosh®で簡単に行うことができます。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］から［Remote Setup］アイコンをダブルクリックします。

リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧のメインメニューに対応しています。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）「7章 付録　機能一覧」を参照してください。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。
起動した直後は、本製品に設定されている内容が自動的にMacintosh®にダウンロードされ、画面上に表示されます。

補足

- この章では、MFC-7840Wの画面を例に説明しています。
- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのMacintosh®にBrotherドライバ＆ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- ウィルスバスター™などのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。

① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

「電話帳登録」を表示しているときには、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときには、「設定内容リスト」を印刷します。（ユーザーズガイド（印刷版）「4章 レポート・リスト　設定内容リストを印刷する」と同じリストを印刷します）ただし、本製品に送信されるまで印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックします。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

補足

エクスポート、インポートの機能を使うと、本製品の設定内容や登録した電話帳を複数の本製品で共有できます。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

● MFC-7340

分類	中分類	項目	設定の可否
基本設定	モード タイマー	―	○
	記録紙タイプ	―	○
	記録紙サイズ	―	○
	音量	着信音量	○
		ボタン確認音量	○
		スピーカー音量	○
	省エネモード	トナー節約モード	○
		スリープモード	○
	画面のコントラスト	―	×
	セキュリティ設定ロック	―	×
ファクス	受信設定	呼出回数	○
		再呼出回数	○
		親切受信	○
		リモート受信	○
		自動縮小	○
		印刷濃度	○
		ポーリング受信	×
		受信スタンプ	○
	送信設定	原稿濃度	×
		ファクス画質	○
		タイマー送信	×
		とりまとめ送信	○
		リアルタイム送信	○
		ポーリング送信	×
		送付書	○
		送付書コメント	○
		海外送信モード	×
	電話帳登録	電話帳／ワンタッチ	○
		電話帳／短縮	○
		電話帳／グループ	○
	レポート設定	送信レポート	○
		通信管理間隔	○
	応用機能	転送／メモリー 受信	○
		暗証番号	○
		ファクス出力	×
	ナンバー プレフィックス	―	○
	ダイヤル制限機能	直接入力	○
		ワンタッチダイヤル	○
		短縮ダイヤル	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	通信待ち確認	−	×
	安心通信モード	−	×
コピー	コピー画質	−	○
	コントラスト	−	○
製品情報	シリアルNo	−	×
	印刷枚数表示	−	×
	ドラム寿命	−	×
初期設定	受信モード	−	○
	時計セット	−	○
	発信元登録	−	○
	回線種別設定	−	○
	ダイヤルトーン設定	−	×
	特別回線対応	−	×
	ナンバーディスプレイ	−	×
	個人情報消去	−	×
	機能設定リセット	−	×
	表示言語	−	×

● MFC-7840W

分類	中分類	項目	設定の可否
基本設定	モード　タイマー	−	○
	記録紙タイプ	−	○
	記録紙サイズ	−	○
	音量	着信音量	○
		ボタン確認音量	○
		スピーカー音量	○
	省エネモード	トナー節約モード	○
		スリープモード	○
	画面のコントラスト	−	×
	セキュリティ	セキュリティ設定ロック	×
		セキュリティ機能ロック	×
ファクス	受信設定	呼出回数	○
		再呼出回数	○
		親切受信	○
		リモート受信	○
		自動縮小	○
		印刷濃度	○
		ポーリング受信	×
		受信スタンプ	○
	送信設定	原稿濃度	×
		ファクス画質	○
		タイマー送信	×
		とりまとめ送信	○

分類	中分類	項目			設定の可否
ファクス	送信設定	リアルタイム送信			○
		ポーリング送信			×
		送付書			○
		送付書コメント			○
		海外送信モード			×
	電話帳登録	電話帳／ワンタッチ			○
		電話帳／短縮			○
		電話帳／グループ			○
	レポート設定	送信レポート			○
		通信管理間隔			○
	応用機能	転送／メモリー 受信			○
		暗証番号			○
		ファクス出力			×
	ナンバー　プレフィックス	－			○
	ダイヤル制限機能	直接入力			○
		ワンタッチダイヤル			○
		短縮ダイヤル			○
	通信待ち確認	－			×
	安心通信モード	－			×
コピー	コピー画質	－			○
	コントラスト	－			○
プリンタ	プリンタ　オプション	フォント　リスト			×
		プリンタ設定			×
		テスト　プリント			×
	プリンタ　リセット	－			×
ＬＡＮ	有線ＬＡＮ	ＴＣＰ／ＩＰ設定	ＩＰ取得方法		○
			ＩＰ　アドレス		○
			サブネット　マスク		○
			ゲートウェイ		○
			ノード名		○
			ＷＩＮＳ設定		○
			ＷＩＮＳ　サーバ	プライマリ	○
				セカンダリ	○
			ＤＮＳ　サーバ	プライマリ	○
				セカンダリ	○
			ＡＰＩＰＡ		○
			ＩＰｖ６		○
		イーサネット	－		○
		初期設定に戻す	－		×
		有線ＬＡＮ有効	－		×
	無線ＬＡＮ	ＴＣＰ／ＩＰ設定	ＩＰ取得方法		○
			ＩＰアドレス		○
			サブネット　マスク		○

分類	中分類	項目			設定の可否
LAN	無線LAN	TCP／IP設定	ゲートウェイ		○
			ノード名		○
			WINS設定		○
			WINS サーバ	プライマリ	○
				セカンダリ	○
			DNS サーバ	プライマリ	○
				セカンダリ	○
			APIPA		○
			IPv6		○
		無線接続ウィザード	－		×
		SES/WPS/AOSS	－		×
		WPS(PIN方式)	－		×
		無線状態	接続状態		×
			電波状態		×
			SSID		×
			通信モード		×
		初期設定に戻す	－		×
		無線LAN有効	－		×
	スキャン to FTP	－			○
	LAN設定リセット	－			×
製品情報	シリアル No.	－			×
	印刷枚数表示	－			×
	ドラム寿命	－			×
初期設定	受信モード	－			○
	時計セット	－			○
	発信元登録	－			○
	回線種別設定	－			○
	ダイヤルトーン設定	－			×
	特別回線対応	－			×
	ナンバーディスプレイ	－			×
	個人情報消去	－			×
	機能設定リセット	－			×
	表示言語	－			×

補足

各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド（印刷版）「7章 付録　機能一覧」参照してください。

電話帳登録をする

リモートセットアップの操作の例として、電話帳登録をする場合について説明します。
画面の左側の機能分類から「電話帳登録」をクリックすると、次の画面が表示されます。

この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。
- ワンタッチダイヤル：最大8件（1～8）
- 短縮ダイヤル：最大200件（001～200）

電話番号は20桁まで登録できます（カッコは使用できません）。
また、相手先名称は10桁（漢字入力の場合）まで入力できます。

● 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号、ファクス番号と名称を、3桁の短縮番号（最大200件）に登録します。

左側から「電話帳登録」を選ぶ

登録する短縮番号の行にある「ファクス／ TEL 番号」に電話番号、ファクス番号を入力する

種別を選ぶ

- 「ファクス／TEL番号」

「相手先名称」に相手先の名前を入力する

グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」を ON にします。

[OK] をクリックする

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。8グループまで登録できます。

左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1～8」から選びます。
例）ここでは「グループ2」を選びます。

「相手先名称」にグループ名を入力する

グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ2に登録する場合は、「G2」を ON にします。

[OK] をクリックする

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

Macintosh®編

5章

PCファクス（MFC-7340/MFC-7840Wのみ）

Macintosh®からファクスを送る

PCファクスを利用すると、Macintosh®上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信することができます。
あらかじめ、Macintosh® 上のアドレスブックに相手先を登録しておくことで、アドレスブックを呼び出して、ファクスの宛先として設定できます。

補足
●Mac OS® Xへの対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しています。以下のサイトを参照してください。
http://solutions.brother.co.jp/

Mac OS® X 10.2.4～10.4.xの場合

Macintosh® のアプリケーションでファイルを作成する

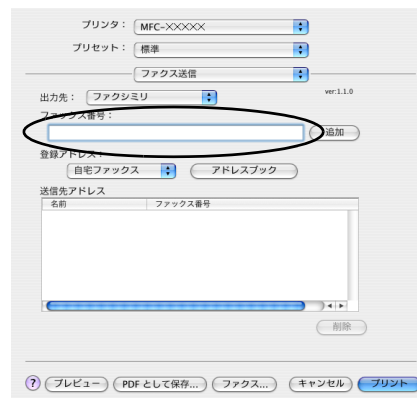
［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

プリントダイアログが表示されます。
お使いの機種名が表示されているか確認してください。

プルダウンメニューから［ファクス送信］を選択する

［出力先］プルダウンメニューから［ファクシミリ］を選択する

ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力する

複数の宛先に送る場合は、ファクス番号を入力して［追加］をクリックします。この操作をくり返して、すべてのファクス番号を入力します。

［プリント］をクリックする

ファクス送信が開始されます。

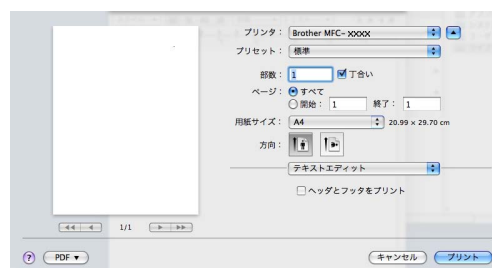
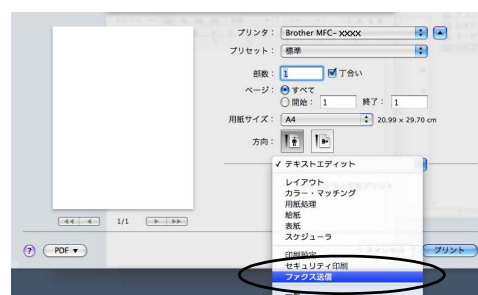
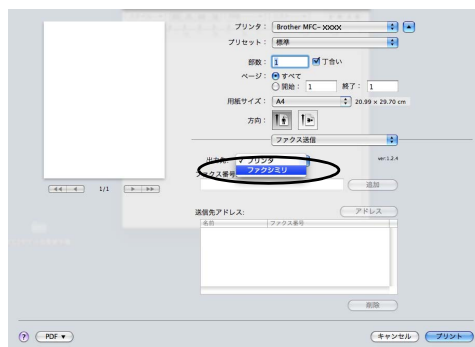
Mac OS® X 10.5～の場合

Macintosh® のアプリケーションでファイルを作成する

［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

プリントダイアログが表示されます。
お使いの機種名が表示されているか確認してください。

3

［プリンタ］ポップアップメニューの横の ▼ をクリックする

プルダウンメニューから［ファクス送信］を選択する

5 ［出力先］プルダウンメニューから［ファクシミリ］を選択する

6 ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力する

複数の宛先に送る場合は、ファクス番号を入力して［追加］をクリックします。この操作をくり返して、すべてのファクス番号を入力します。

7 ［プリント］をクリックする

ファクス送信が開始されます。

アドレスブックを利用する

Mac OS® X 10.2.4～10.4.xの場合

アドレスブックからvCardをドラッグすることで送信先を設定することができます。

［アドレスブック］をクリックする

アドレスブックが起動します。

アドレスブックから vCard を［送信先アドレス］までドラッグする

［送信先アドレス］に番号が表示されます。

ファクス送信先の設定が完了したら、［プリント］をクリックする

注意

■vCardは自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が登録されたものを使用してください。

■登録アドレスプルダウンリストから自宅ファクスまたは勤務先ファクスを選択することで vCard 内のどのカテゴリのファクス番号を使うかが決定されます。vCard内に登録されているファクス番号がひとつのみの場合、選択されたカテゴリ（自宅または勤務先）に関係なく、そのファクス番号が送信先として設定されます。

Mac OS® X 10.5～の場合

［アドレス］をクリックする

アドレスブックが起動します。

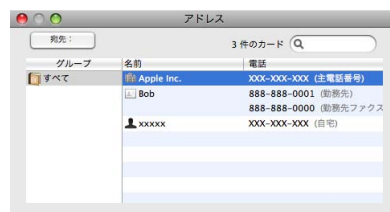
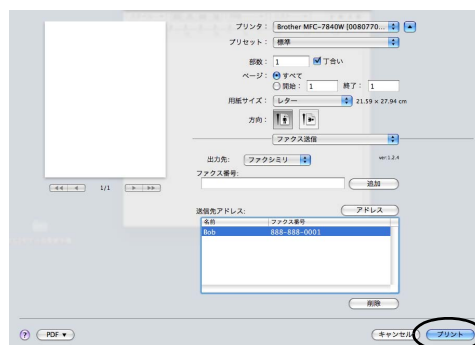
ファクスの送り先をアドレスブックから選択して［宛先］をクリックする

［送信先アドレス］に番号が表示されます。

ファクス送信先の設定が完了したら、［プリント］をクリックする

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
その他の便利な使い方（ControlCenter2/3）
付録

Macintosh®編

6章

その他の便利な使い方（ControlCenter2）

ControlCenter2とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナ、PCファクスなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2の画面

ControlCenter2では、本製品で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出すことができます。ControlCenter2の画面が表示されたら、以下の手順で機能を選択します。

①スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、E メールにデータを添付することができます。P.183 を参照してください。

②カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。P.185 を参照してください。

③コピー /PC-FAX

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。P.187 を参照してください。
また、スキャンした原稿を本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。P.187 を参照してください。
DCP-7030/DCP-7040では、PCファクス機能は使用できません。

④デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。P.191 を参照してください。

ControlCenter2を起動する

[MacintoshHD] － [ライブラリ] － [Printers] － [Brother] － [Utilities] － [ControlCenter] から [ControlCenter] アイコンをダブルクリックする

メニューバーに が表示されます。

起動時の動作を設定する

Macintosh®を起動したとき、ControlCenter2も同時に起動させることができます。

メニューバーの をクリックして、[起動状態の設定] を選択する

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

起動時の動作を選択する

- パソコン起動時に起動する：
  ControlCenter2 が起動し、メニューバーで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く：
  ControlCenter2 が起動し、ウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

[OK] をクリックする

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。

① イメージ

原稿をスキャンして、任意のアプリケーションで開きます。

② OCR

文字の入った原稿をスキャンして、Macintosh®で編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ E メール

スキャンした原稿を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

④ ファイル

原稿をスキャンして、すぐにMacintosh®の指定したフォルダに保存します。

それぞれの機能でファイル形式を選択することができます。設定方法は、P.184 を参照してください。

- Windows® ビットマップ（*.BMP）
- JPEG（*.JPG）
- TIFF－非圧縮（*.TIF）
- TIFF－圧縮（*.TIF）
- TIFFマルチページ－非圧縮（*.TIF）
- TIFFマルチページ－圧縮（*.TIF）
- ポータブルネットワークグラフィックPNG（*.PNG）
- PDF（*.PDF）

補足

モデル名で「その他」を選択するとデバイスセレクタが起動します。

スキャンを実行する

原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。

スキャンの設定を変更する

起動するアプリケーションやスキャン時の設定は、以下の手順で変更できます。

［Ctrl］キーを押しながらボタンをクリックする

［ControlCenter の設定］タブをクリックし、内容を設定する

- プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。
- ［本体スキャンボタンの設定］をクリックすると、本製品のスキャンボタンからスキャンする動作を設定できます。

例）「イメージ」の場合

［OK］をクリックする

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。

よく使う設定を登録する

[Ctrl] キーを押しながらボタンをクリックする

「カスタム」ダイアログボックスが表示されます。

「カスタム 1 の名前」に名前を入力する

スキャンの種類を選択する

スキャンの種類は「スキャンイメージ」「スキャン OCR」「スキャン E メール」「スキャンファイル」から選びます。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2/3)
付録

「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。

［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

スキャンを実行する

原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー /PCファクス

原稿をコピーしたり、Macintosh®からファクスをします。コピーとファクス送信の設定を４つまで登録できます。

補足

●DCP-7030/DCP-7040では、PCファクス機能は使用できません。

コピーの設定を登録する

[Ctrl] キーを押しながらボタンをクリックする

「コピー」ダイアログボックスが表示されます。

「コピー１の名前」に名前を入力する

「コピー設定」を選択する

「コピー設定」は、「100%」または「用紙サイズに合わせる」から選びます。

他の項目を必要に応じて設定する

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。

［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

原稿をセットする

ControlCenter2 の「コピー /PC-FAX」をクリックする

実行するコピーのボタンをクリックする

ページ設定画面が表示されます。

「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする

［プリント］をクリックする

コピーが実行されます。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2/3)
付録

ファクスを送信する

スキャンしたデータをファクスとして送信します。

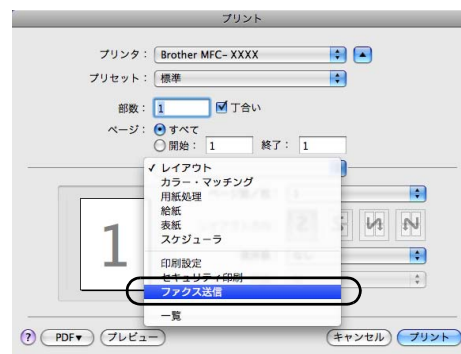
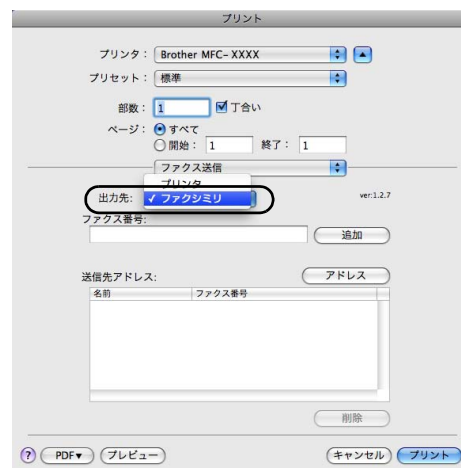
原稿をセットする

ControlCenter2の「コピー/PC-FAX」をクリックする

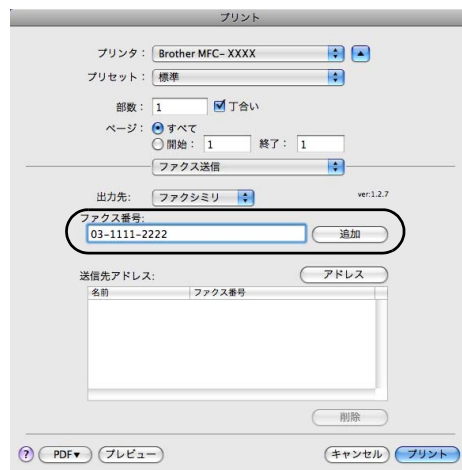
実行するコピーのボタンをクリックする

ページ設定画面が表示されます。

「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする

ポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ

「出力先」で「ファクシミリ」を選ぶ

「ファクス番号：」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックする

補足

複数の相手にファクスを送信するときは、続けて「ファクス番号：」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックします。

［プリント］をクリックする

ファクスが送信されます。

補足

送るのをやめるときは、［キャンセル］をクリックします。

デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。

① リモートセットアップ（MFC-7340/MFC-7840W のみ）

Macintosh®上で本製品に関する機能設定ができます。

リモートセットアップについては、P.166 を参照してください。

② 電話帳（MFC-7340/MFC-7840W のみ）

Macintosh®上で本製品の電話帳に関する操作ができます。

詳しくは、P.172 を参照してください。

③ ステータスモニタ

Macintosh®上で本製品のステータスモニタが確認できます。

詳しくは、P.132 を参照してください。

付　録

エラーメッセージが表示されたとき

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、ユーザーズガイド（印刷版）「3 章 こんなときは　エラーメッセージ」（DCP-7030/DCP-7040）、「6章 こんなときは　エラーメッセージ」MFC-7340/MFC-7840W）を参照してください。
ユーザーズガイドに記載の処置を行ってもエラーが解決しないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へ連絡してください。

故障かな？と思ったときは

故障かな？と思ったときは、ユーザーズガイド（印刷版）「3 章 こんなときは　故障かな？と思ったら」（DCP-7030/DCP-7040）、「6章 こんなときは　故障かな？と思ったら」MFC-7340/MFC-7840W)を参照してください。
ユーザーズガイドに記載の処置を行っても問題が解決しないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へ連絡してください。

動作環境

Windows®

本製品とコンピュータを接続してお使いいただくには、以下のコンピュータ環境が必要になります。
またサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/メモリー

- Windows® 2000 Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  64MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Home
  32ビット（x86）プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Professional x64 Edition
  64ビット（x64）プロセッサ
  256MB（推奨512MB）以上のシステムメモリ
- Windows Server® 2003
  32ビット（x86)プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows Vista®
  32ビット（x86）または64ビット（x64）プロセッサ
  512MB（推奨1GB）以上のシステムメモリ

補足

上記プロセッサの他、Intel®社互換プロセッサも使用できます。

ディスク容量

- Windows® 2000 Professional、Windows® XP Home、Windows® XP Home/XP Professional/XP Professional x64 Edition
  460MB以上の空き容量
- Windows Server® 2003
  50MB以上の空き容量
- Windows Vista®
  1GB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Full-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
有線LAN：10BASE-T/100BASE-TX（MFC-7840Wのみ）
無線LAN：IEEE802.11b/g（MFC-7840Wのみ）

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- インストール時にはアドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。

Macintosh®

本製品とMacintosh®を接続してお使いいただくには、以下の環境が必要になります。
またサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/メモリー

Mac OS® X 10.2.4～10.4.3/128MB（推奨256MB）以上
Mac OS® X 10.4.4以降/512MB（推奨1GB）以上

CPU

Mac OS® X 10.2.4～10.4.3、Power PC G4/G5、Power PC G3 350MHz 以上
Mac OS® X 10.4.4以降、Power PC G4/G5、Intel® Core™ Processor

ディスク容量

480MBの空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Full-Speed USB 2.0（USB1.1対応のコンピュータでもご使用いただけます。）
有線LAN：10BASE-T/100BASE-TX（MFC-7840Wのみ）
無線LAN：IEEE802.11b/g（MFC-7840Wのみ）

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS® X 10.2.3までをお使いの場合は、Mac OS® X 10.2.4以降へのアップグレードが必要となります。

索　引

れ